

## 令和2年度 市町村胃がん検診 精度管理状況の集計・評価

### 【集計・評価の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。精度管理が適切に行われているかどうかを確認する目的で国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県において健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業としてがん検診を行う県内全市町村分を集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

### 【集計・評価の対象とする調査等】

1. 国立がん研究センター「令和2年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和元年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標（プロセス指標）

### 【調査等の概要及び評価】

#### 調査1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査

##### 《調査内容》

胃がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」として整理されています。

本調査は、令和2年度における当該チェックリストの遵守状況および平成30年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

##### 《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町村用チェックリスト53項目（うち評価対象は52項目）です。また、今回の評価は集団検診のみを対象とし、個別検診は対象外（参考値）とします。

評価基準は以下の5段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

A：チェックリストをすべて満たしている

B：チェックリストを一部満たしていない

C：チェックリストを相当程度満たしていない

D：チェックリストを大きく逸脱している

E：チェックリストをきわめて大きく逸脱している

-：検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」：平成20年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

非実施項目数（×の数）

[集団検診] 5段階評価 A:0、B:1-4、C:5-8、D:9-13、E:14以上（全国の実施状況参考）

[個別検診] 5段階評価 A:0、B:1-8、C:9-13、D:14-21、E:15以上（全国の実施状況参考）

《結果》

1-1 市町村（集団検診）

市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価
那覇市	D	B	今帰仁村	D	E	渡嘉敷村	E	E
宜野湾市	E	E	本部町	E	E	座間味村	E	E
石垣市	-	-	恩納村	E	E	粟国村	E	E
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	E	E
名護市	D	C	金武町	E	E	南大東村	-	-
糸満市	D	D	伊江村	E	E	北大東村	-	-
沖縄市	C	C	読谷村	E	E	伊平屋村	C	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	E	D	伊是名村	D	E
うるま市	E	C	北谷町	E	E	久米島町	-	E
宮古島市	-	C	北中城村	C	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	E	E
国頭村	E	C	西原町	E	E	竹富町	-	E
大宜味村	B	未提出	与那原町	E	E	与那国町	E	C
東村	E	E	南風原町	E	E			

1-2 市区町村（参考：個別検診 [評価対象外]）

市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価
那覇市	C	B	今帰仁村	-	-	渡嘉敷村	-	-
宜野湾市	E	E	本部町	E	E	座間味村	-	-
石垣市	-	-	恩納村	E	D	粟国村	-	-
浦添市	E	E	宜野座村	-	-	渡名喜村	-	-
名護市	-	-	金武町	E	E	南大東村	-	-
糸満市	E	E	伊江村	E	E	北大東村	-	-
沖縄市	D	D	読谷村	E	E	伊平屋村	-	-
豊見城市	E	E	嘉手納町	-	-	伊是名村	-	-
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	-	-
宮古島市	-	-	北中城村	D	C	八重瀬町	E	E
南城市	D	D	中城村	E	E	多良間村	-	-
国頭村	-	-	西原町	E	E	竹富町	-	-
大宜味村	-	未提出	与那原町	E	E	与那国町	-	-
東村	E	-	南風原町	E	E			

集団検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R1	0	1	8	2	26	1	38
R2	0	1	3	5	26	0	35

個別検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R1	0	1	1	3	15	1	21
R2	0	0	1	3	17	0	21

## **2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標（プロセス指標）**

### **《内容及び算定対象年齢》**

がん検診の受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の5種類の事業評価指標（プロセス指標）について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和元年度）の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき40歳から69歳までとし、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に基づき40歳から74歳までとしています。

### **《評価基準》**

評価基準は前述した厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました<sup>※</sup>。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は90%以上、許容値は80%以上とされています。

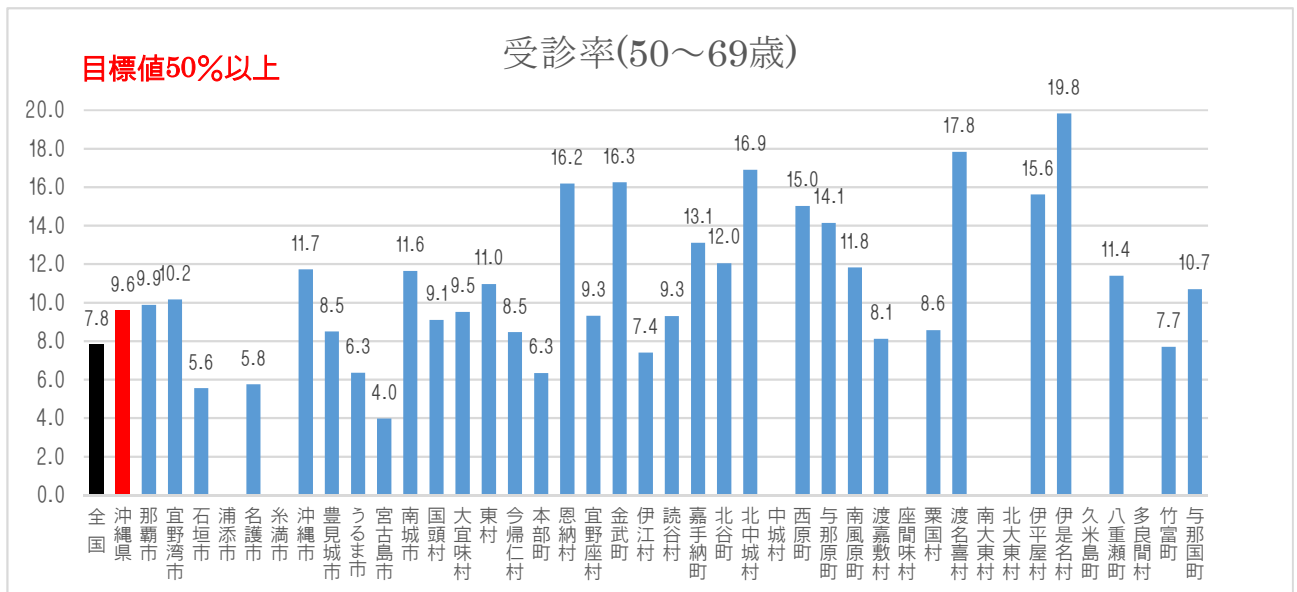
### **《結果：胃がん検診の精度管理指標数値（平成30年度検診実施分）》**

※受診率のみ令和元年度検診実施分を示します。

※棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診を実施したが計数がない（ゼロ）」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は検診の未実施あるいは計数が算出できなかったことを示します。

① 受診率（令和元年度受診者 50～69 歳） 受診者数／対象者数×100

受診率は、胃がん検診対象者のうち受診者の割合です。高いことが望ましく、目標値は50%以上となっています。



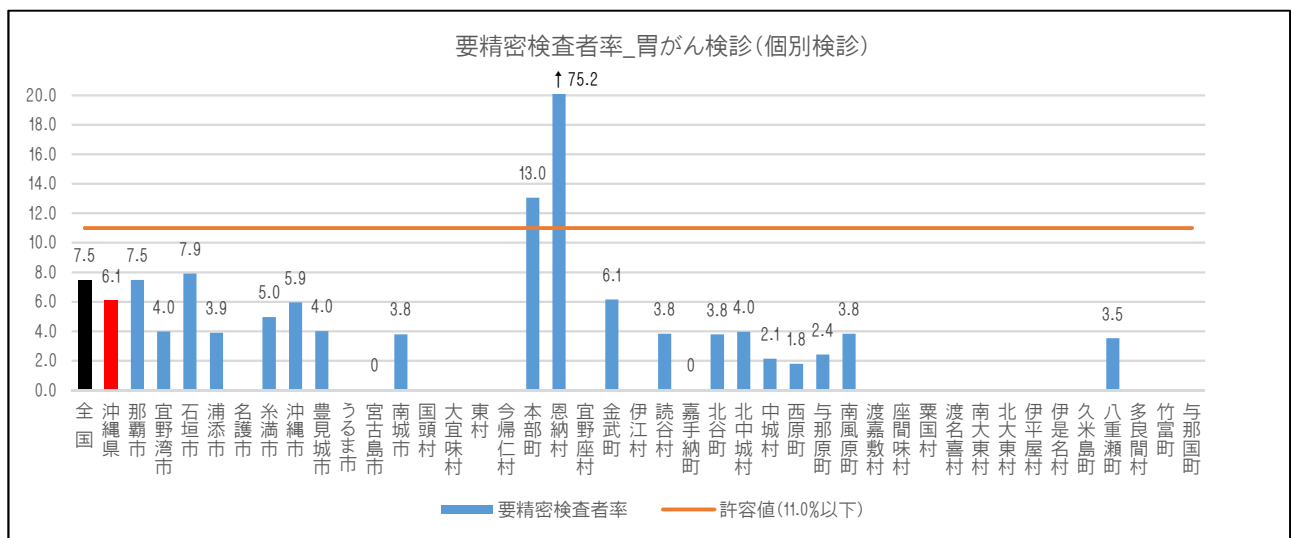
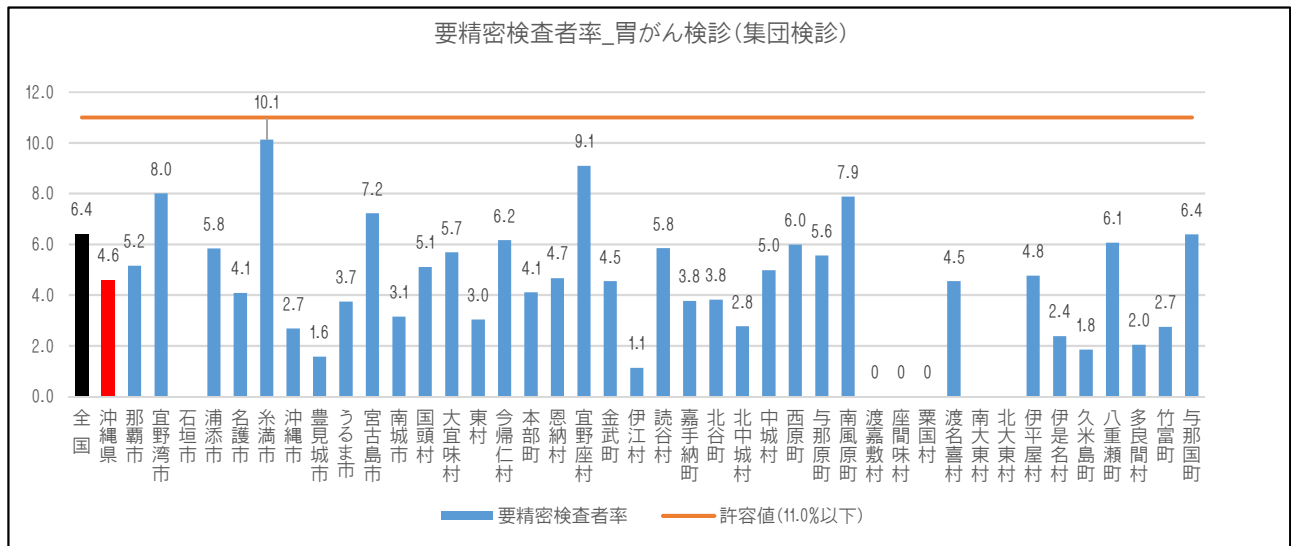
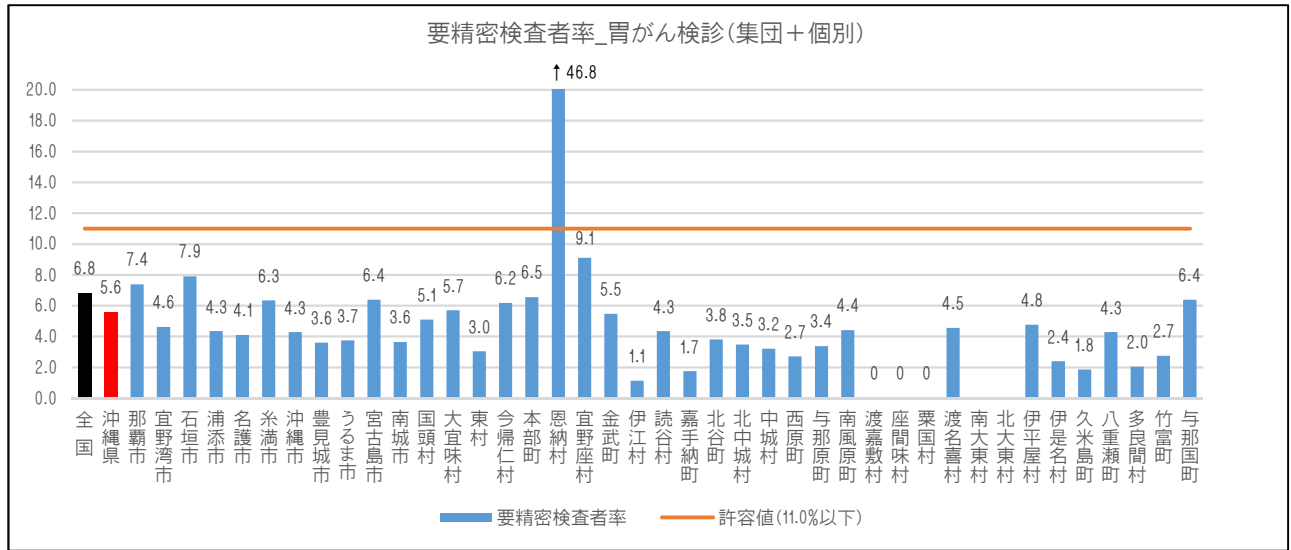
	総数				受診率 2)
	対象者数 1)	当該年度 受診者数 1)	前年度 受診者数 1)	2年連続 受診者数 1)	
		(エックス線及び 胃内視鏡)	(エックス線及び 胃内視鏡)		
<b>全国</b>	<b>32,486,038</b>	<b>1,643,782</b>	<b>1,761,678</b>	<b>867,134</b>	<b>7.8</b>
<b>沖縄県</b>	<b>372,038</b>	<b>23,503</b>	<b>24,181</b>	<b>9,989</b>	<b>9.6</b>
那覇市	82,310	5,119	5,867	2,862	9.9
宜野湾市	23,389	1,535	1,635	795	10.2
石垣市	13,910	300	473	-	5.6
浦添市	27,937	1,847	1,763	...	...
名護市	15,073	504	616	252	5.8
糸満市	15,464	1,156	1,220	...	...
沖繩市	34,759	2,706	2,855	1,484	11.7
豊見城市	14,770	840	749	333	8.5
うるま市	31,222	1,663	942	624	6.3
宮古島市	15,979	374	428	168	4.0
南城市	11,566	1,053	988	695	11.6
国頭村	1,527	90	103	54	9.1
大宜味村	1,009	60	64	28	9.5
東村	611	44	43	20	11.0
今帰仁村	2,791	161	149	74	8.5
本部町	3,863	121	126	2	6.3
恩納村	2,768	336	324	212	16.2
宜野座村	1,363	82	97	52	9.3
金武町	2,843	331	310	179	16.3
伊江村	1,474	74	65	30	7.4
読谷村	10,652	649	703	361	9.3
嘉手納町	3,418	230	266	48	13.1
北谷町	6,857	443	531	148	12.0
北中城村	4,281	465	368	110	16.9
中城村	5,113	350	374	...	...
西原町	9,063	711	806	156	15.0
与那原町	4,642	472	472	288	14.1
南風原町	8,875	704	779	433	11.8
渡嘉敷村	197	11	12	7	8.1
座間味村	259	8	9	5	...
粟国村	210	21	17	20	8.6
渡名喜村	129	12	19	8	17.8
南大東村	382	-	-	-	-
北大東村	198	-	-	-	-
伊平屋村	378	39	44	24	15.6
伊是名村	444	66	59	37	19.8
久米島町	2,365	113	113	...	...
八重瀬町	7,985	673	678	441	11.4
多良間村	361	45	33	...	...
竹富町	1,143	65	46	23	7.7
与那国町	458	30	35	16	10.7

※ 受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値である。

②要精密検査率（平成30年度受診者 40～74歳） 要精密検査者数／受診者数×100

要精密検査率は、受診者のうち精密検査が必要とされた者の割合で、0よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は11.0%以下とされています。

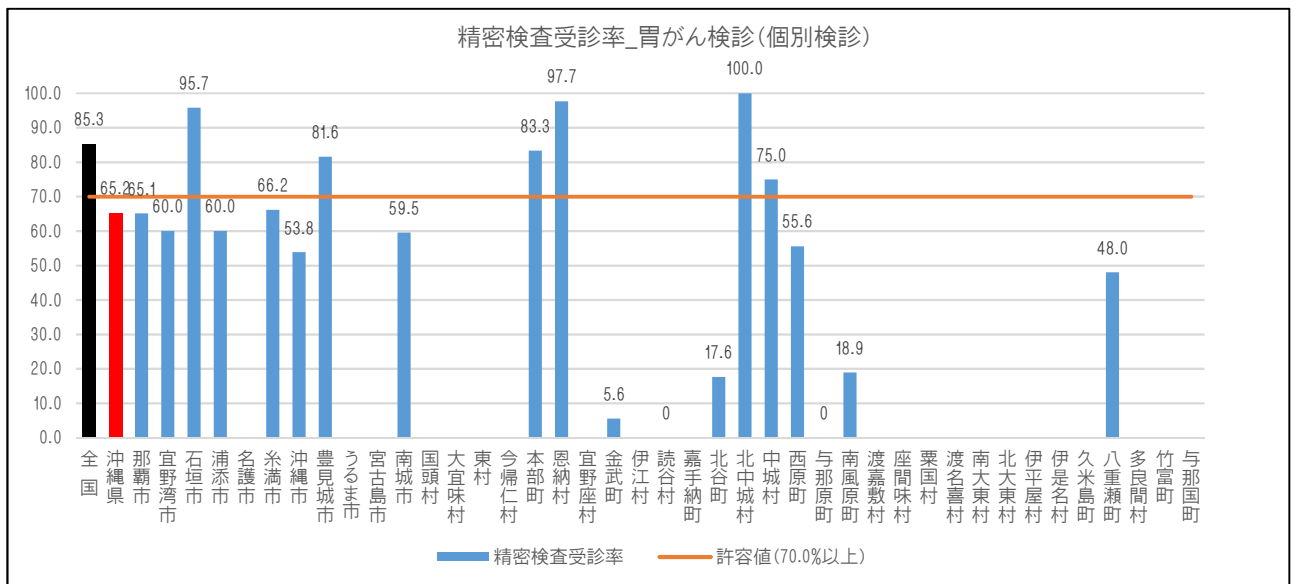
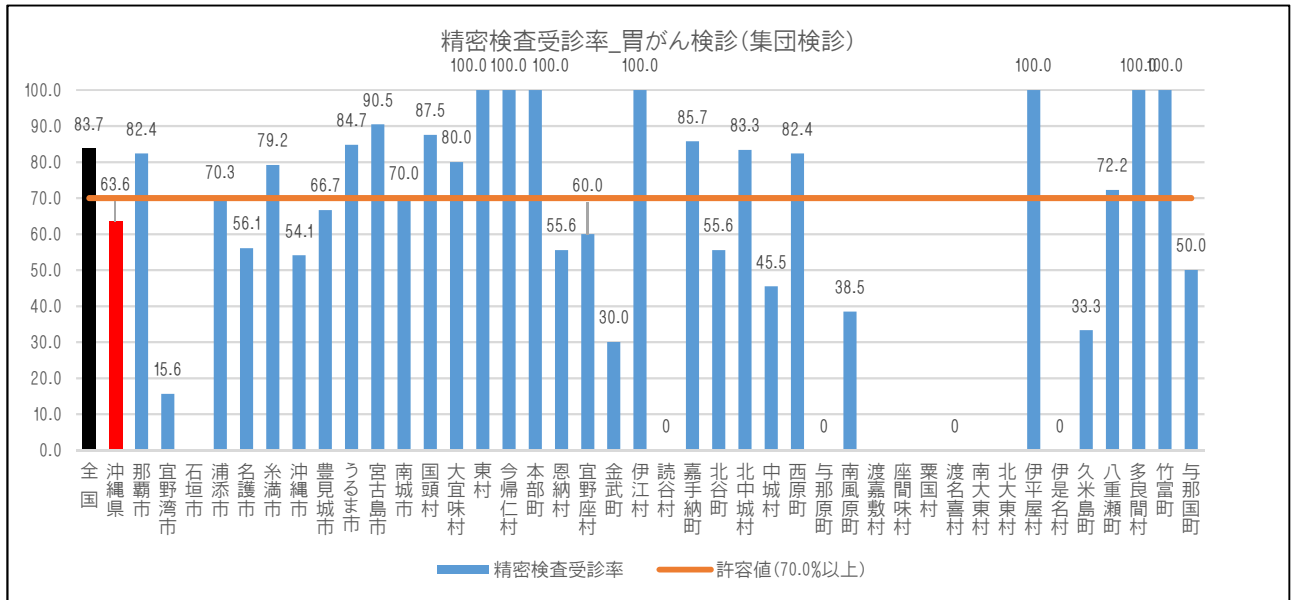
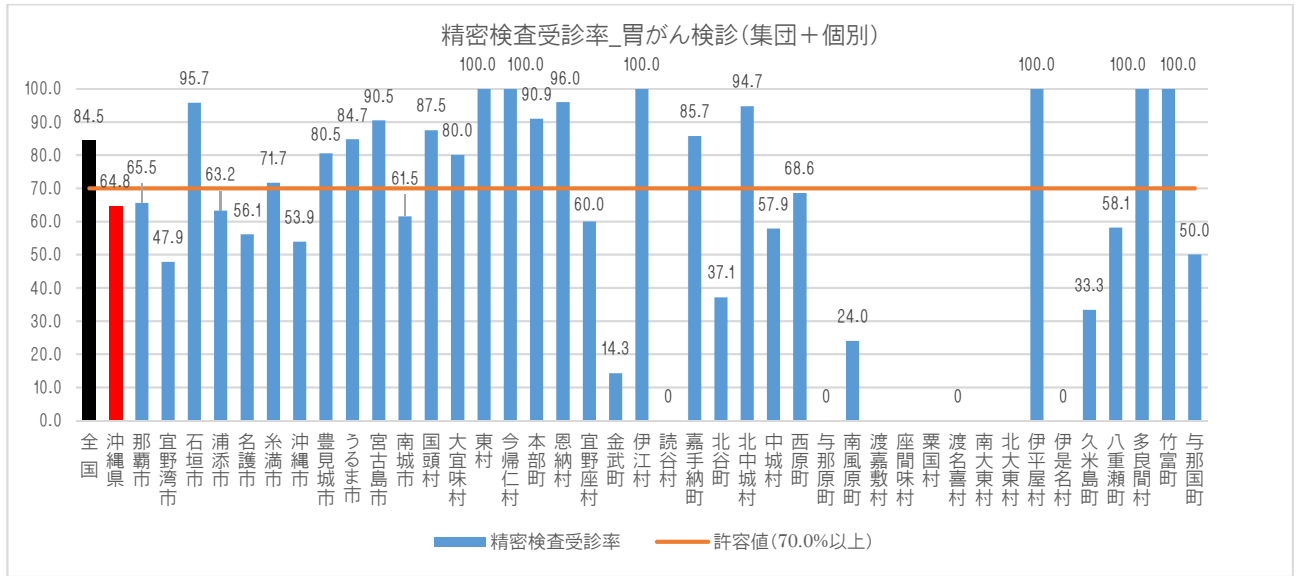
沖縄県全体では5.6%と、許容値の範囲内となっています。



③精検受診率（平成30年度受診者 40～74歳） 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、目標値は90%以上、許容値は70%以上です。

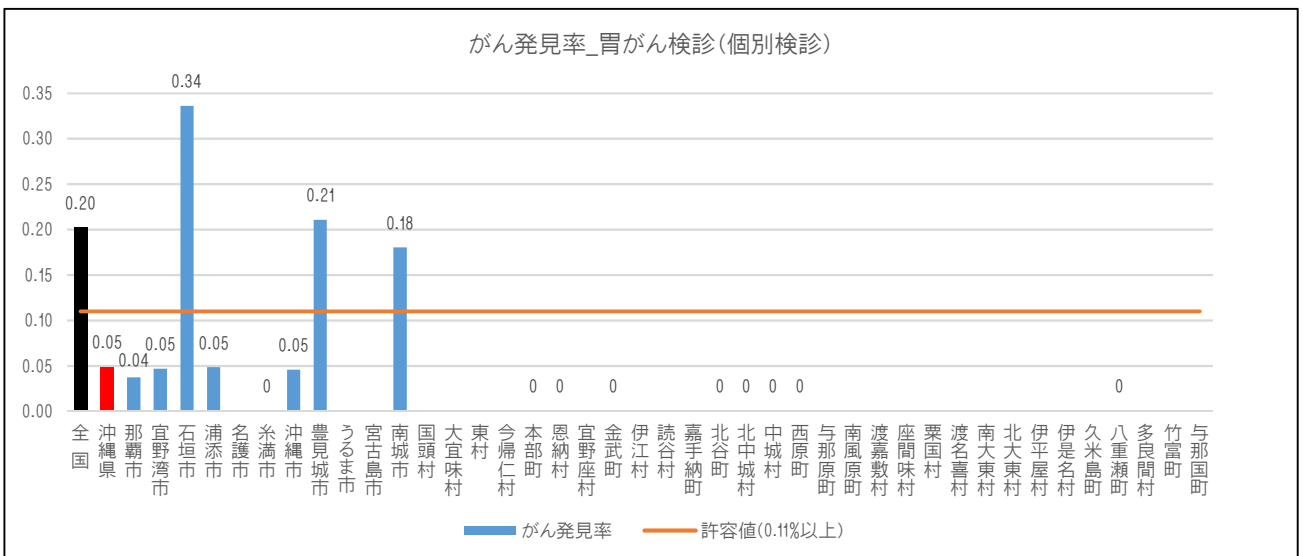
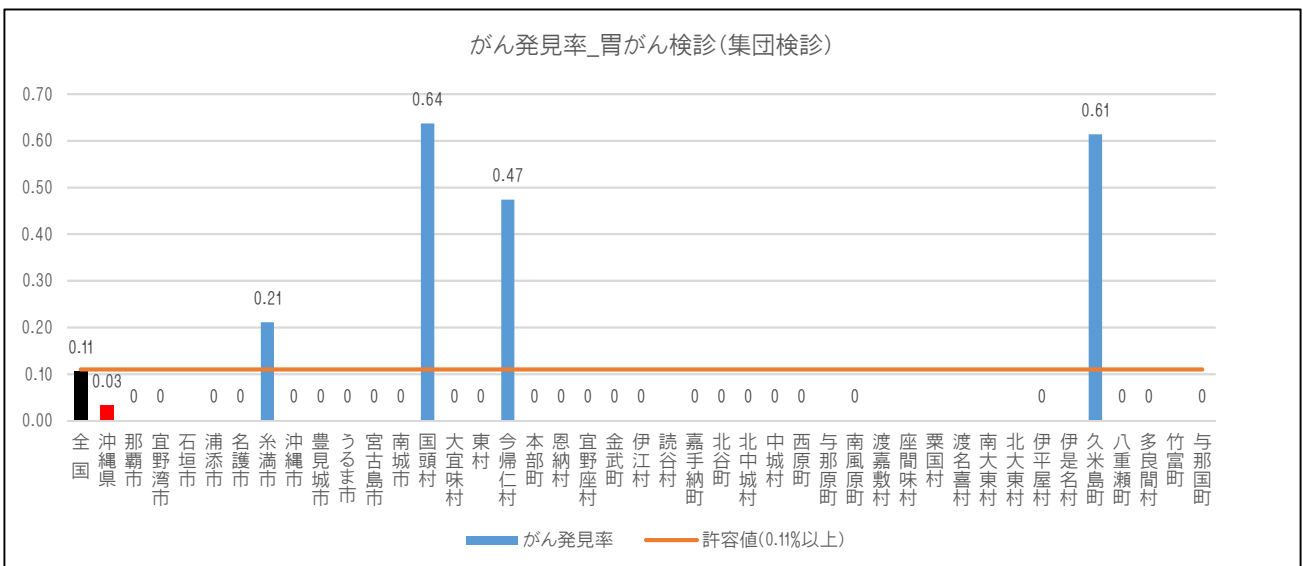
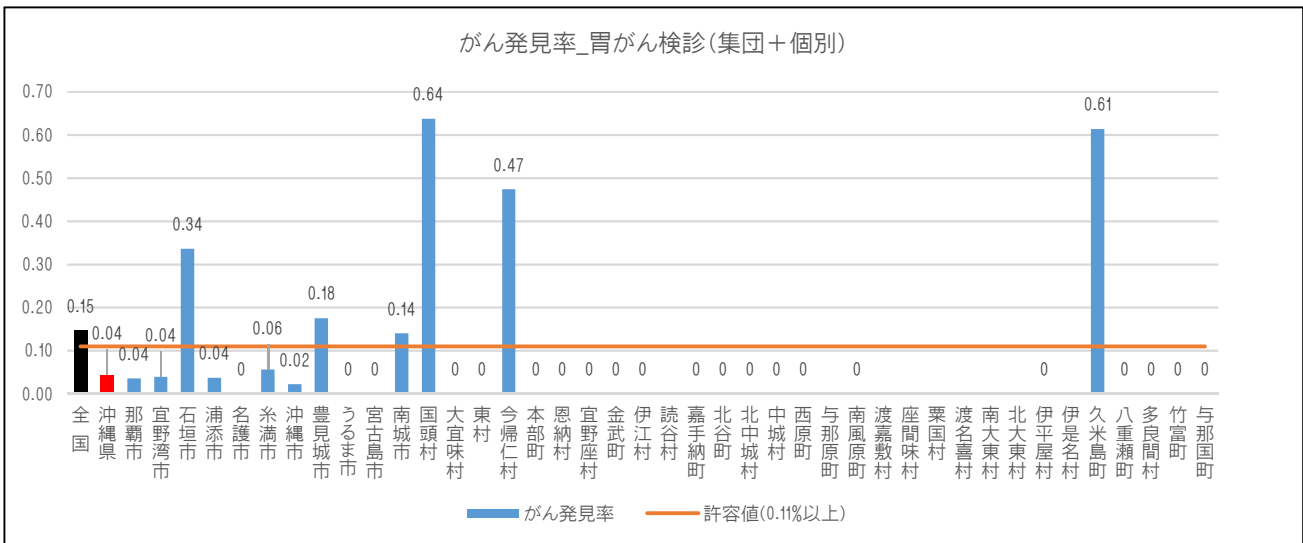
沖縄県全体では64.8%となっており、許容値を満たしていません。



④がん発見率（平成 30 年度受診者 40～74 歳）  $\text{がんであった者} / \text{受診者数} \times 100$

がん発見率は、受診された者のうち、がんが発見された者の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要となります。許容値は 0.11%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が多い地区では低くなる可能性があります。

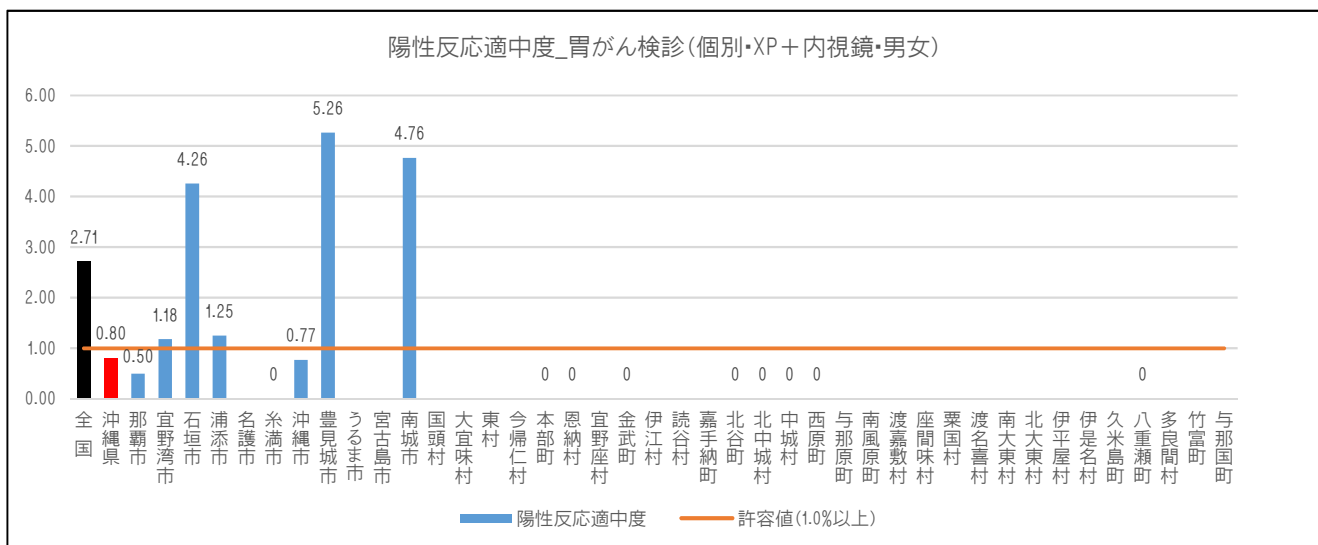
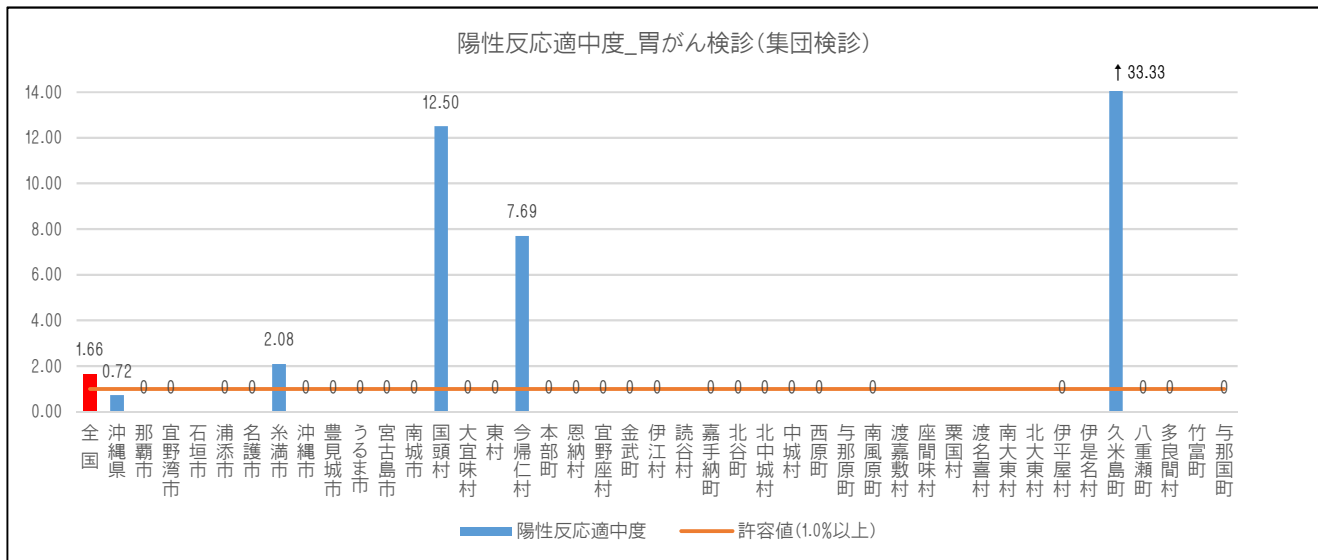
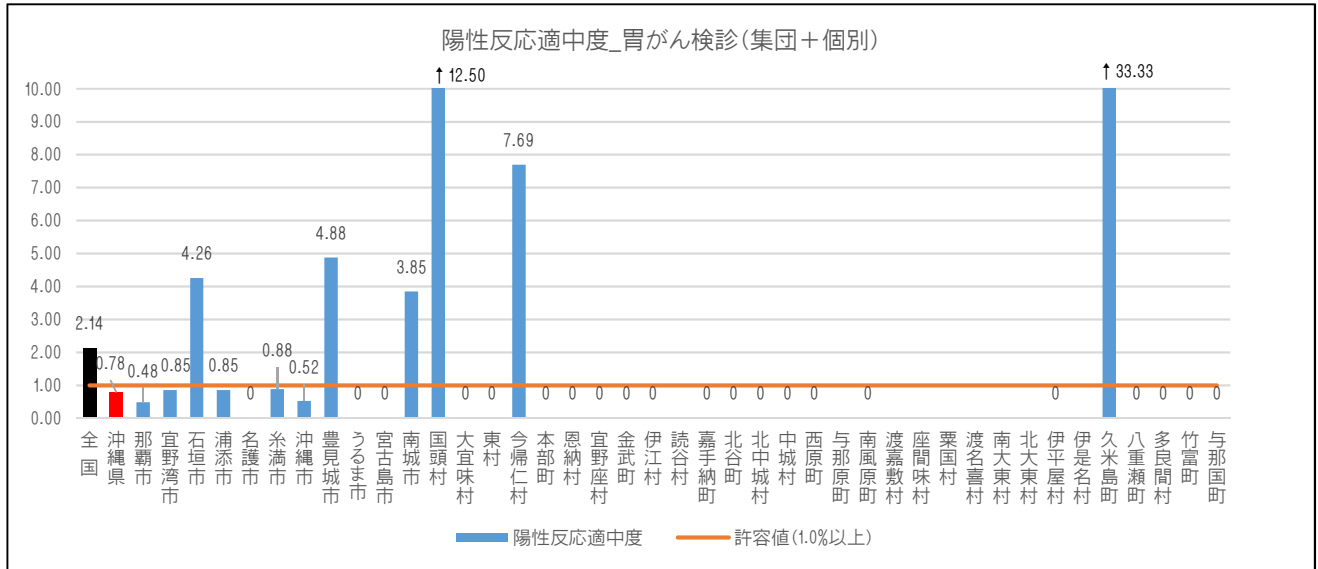
当県全体では 0.04%となっており、許容値を満たしていません。



⑤陽性反応適中度（平成30年度受診者 40～74歳） がんであった者／要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた者のうち、がんがあった者の割合で、基本的には高いことが望ましいが、極端に高値あるは低値の場合は更に検討が必要となります。許容値は1.0%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が多い地区では低くなることがあります。

当県全体では0.78%となっており、許容値を満たしていません。





## 令和2年度 市町村大腸がん検診 精度管理状況の集計・評価

### 【集計・評価の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。精度管理が適切に行われているかどうかを確認する目的で国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県において健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業としてがん検診を行う県内全市町村分を集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

### 【集計・評価の対象とする調査等】

1. 国立がん研究センター「令和2年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和元年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標（プロセス指標）

### 【調査等の概要及び評価】

#### 調査1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査

##### 《調査内容》

がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」として整理されています。

本調査は、令和2年度における当該チェックリストの遵守状況および平成30年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

##### 《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町村用チェックリスト56項目（うち評価対象は55項目）です。また、今回の評価は集団検診のみを対象とし、個別検診は対象外（参考値）とします。

評価基準は以下の5段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

- A：チェックリストをすべて満たしている
- B：チェックリストを一部満たしていない
- C：チェックリストを相当程度満たしていない
- D：チェックリストを大きく逸脱している
- E：チェックリストをきわめて大きく逸脱している
- ：検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」：平成20年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

非実施項目数（×の数）

〔集団検診〕 5段階評価 A:0、B:1-4、C:5-8、D:9-14、E:15以上（全国の実施状況参考）

〔個別検診〕 5段階評価 A:0、B:1-7、C:8-11、D:12-20、E:21以上（全国の実施状況参考）

《結果》

1-1 市町村（集団検診）

市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価
那覇市	C	B	今帰仁村	D	E	渡嘉敷村	E	E
宜野湾市	E	E	本部町	E	E	座間味村	E	E
石垣市	-	E	恩納村	E	E	粟国村	E	E
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	E	E
名護市	D	C	金武町	E	E	南大東村	C	D
糸満市	D	D	伊江村	E	E	北大東村	E	E
沖縄市	C	C	読谷村	E	E	伊平屋村	C	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	D	D	伊是名村	D	E
うるま市	E	C	北谷町	E	E	久米島町	-	E
宮古島市	-	C	北中城村	C	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	E	E
国頭村	E	C	西原町	E	E	竹富町	D	C
大宜味村	B	未提出	与那原町	E	E	与那国町	E	C
東村	E	E	南風原町	E	E			

1-2 市区町村（参考：個別検診 [評価対象外]）

市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価
那覇市	C	B	今帰仁村	-	-	渡嘉敷村	-	-
宜野湾市	E	E	本部町	E	E	座間味村	-	-
石垣市	-	-	恩納村	E	D	粟国村	-	-
浦添市	E	E	宜野座村	-	-	渡名喜村	-	-
名護市	C	B	金武町	E	E	南大東村	-	-
糸満市	E	E	伊江村	E	E	北大東村	-	-
沖縄市	D	D	読谷村	E	E	伊平屋村	-	-
豊見城市	E	E	嘉手納町	-	-	伊是名村	-	-
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	-	-
宮古島市	B	B	北中城村	D	C	八重瀬町	E	E
南城市	D	D	中城村	E	D	多良間村	-	-
国頭村	-	B	西原町	E	E	竹富町	-	-
大宜味村	-	未提出	与那原町	E	E	与那国町	-	-
東村		-	南風原町	-	E			

集団検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R1	0	1	9	3	27	1	41
R2	0	1	5	6	26	0	38

個別検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R1	0	4	1	4	14	1	24
R2	0	1	2	3	15	0	20

## **2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標（プロセス指標）**

### **《内容及び算定対象年齢》**

がん検診の受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の5種類の事業評価指標（プロセス指標）について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和元年度）の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき20歳から69歳までとし、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に基づき20歳から74歳までとしています。

### **《評価基準》**

評価基準は前述した厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました<sup>※</sup>。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は90%以上、許容値は70%以上とされています。

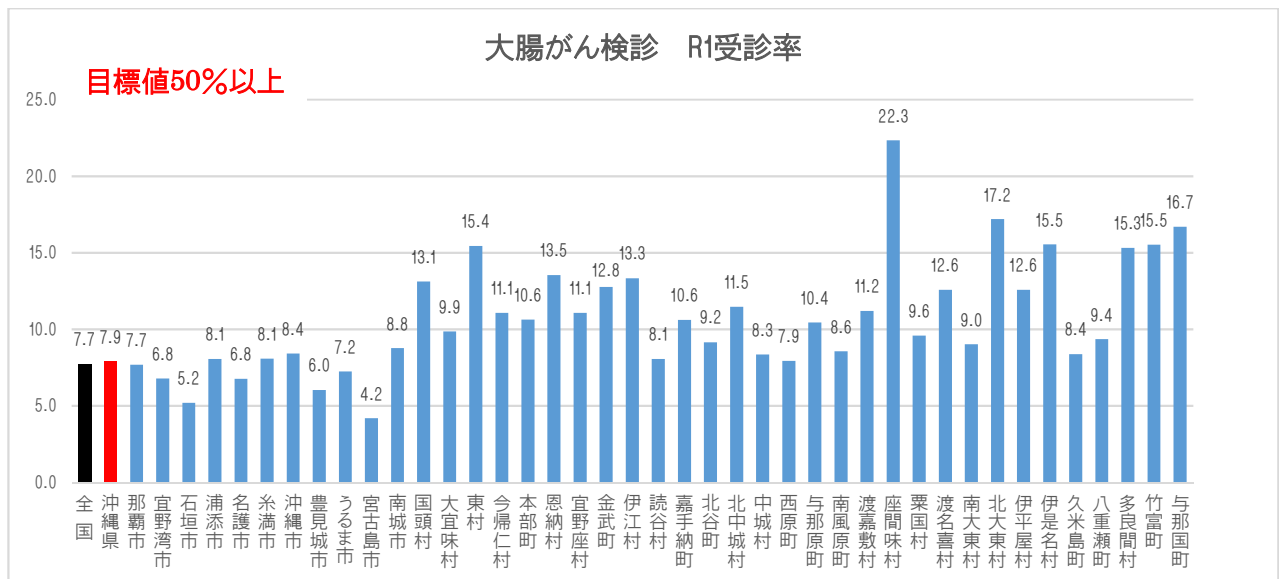
### **《結果：大腸がん検診の精度管理指標数値（平成30年度検診実施分）》**

※受診率のみ令和元年度検診実施分を示します。

※棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診を実施したが計数がない（ゼロ）」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は検診の未実施あるいは計数が算出できなかったことを示します。

① 受診率（令和元年度受診者 40～69 歳） 受診者数／対象者数×100

受診率は、大腸がん検診対象者のうち受診者の割合です。高いことが望ましく、目標値は50%以上となっています。



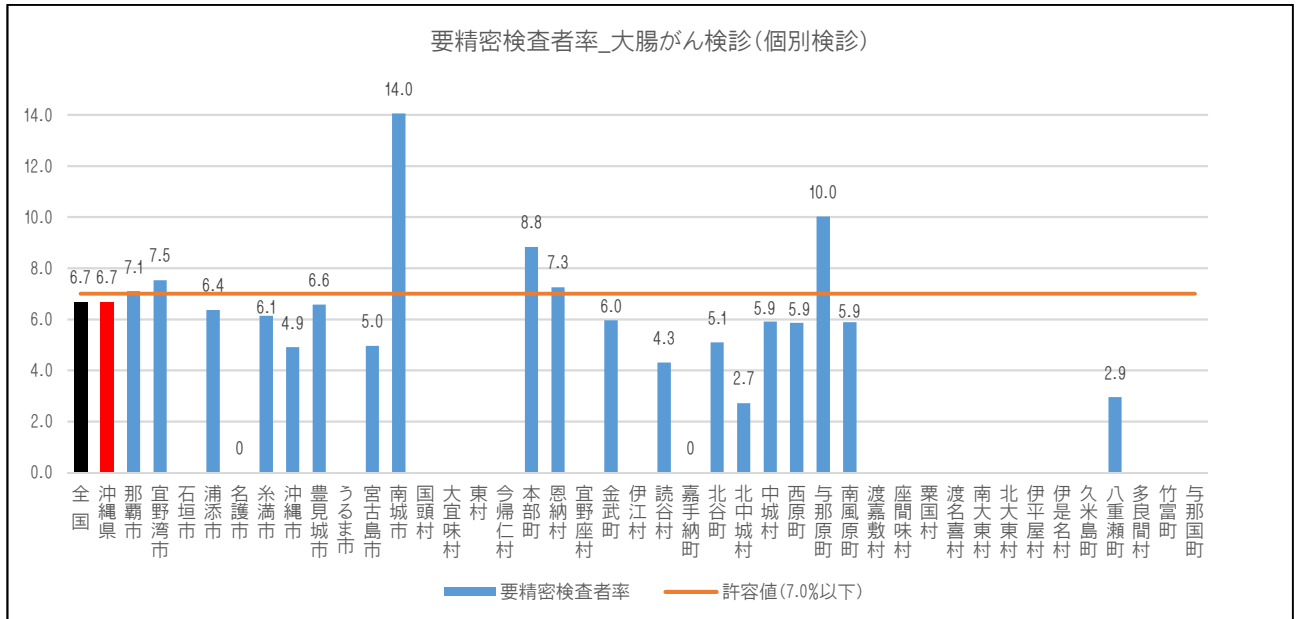
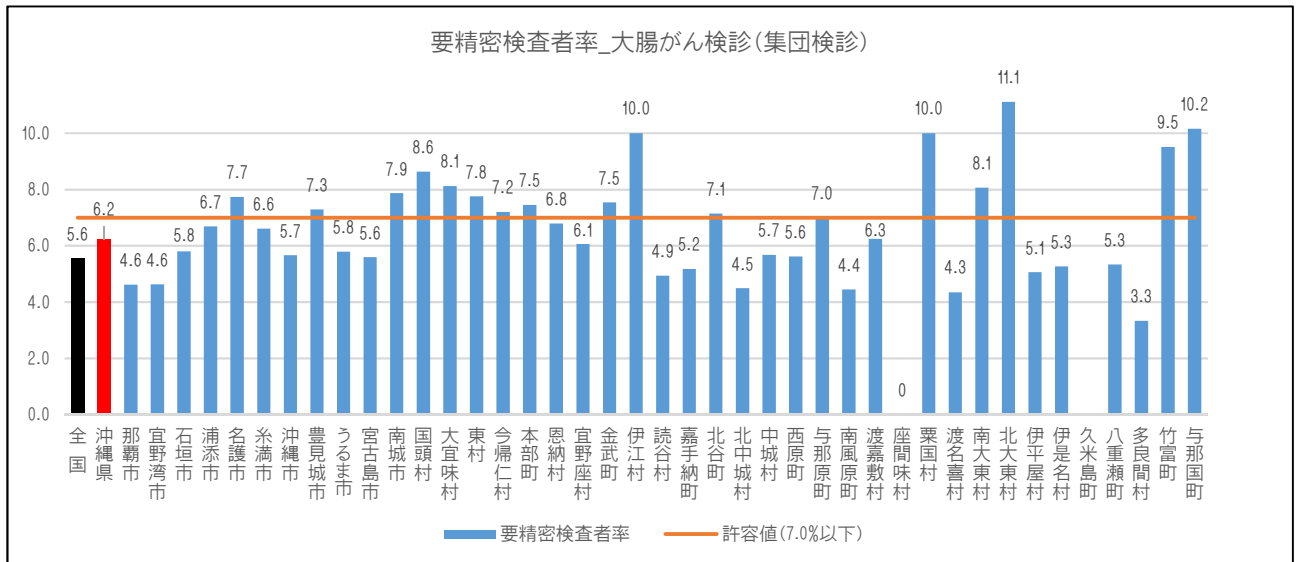
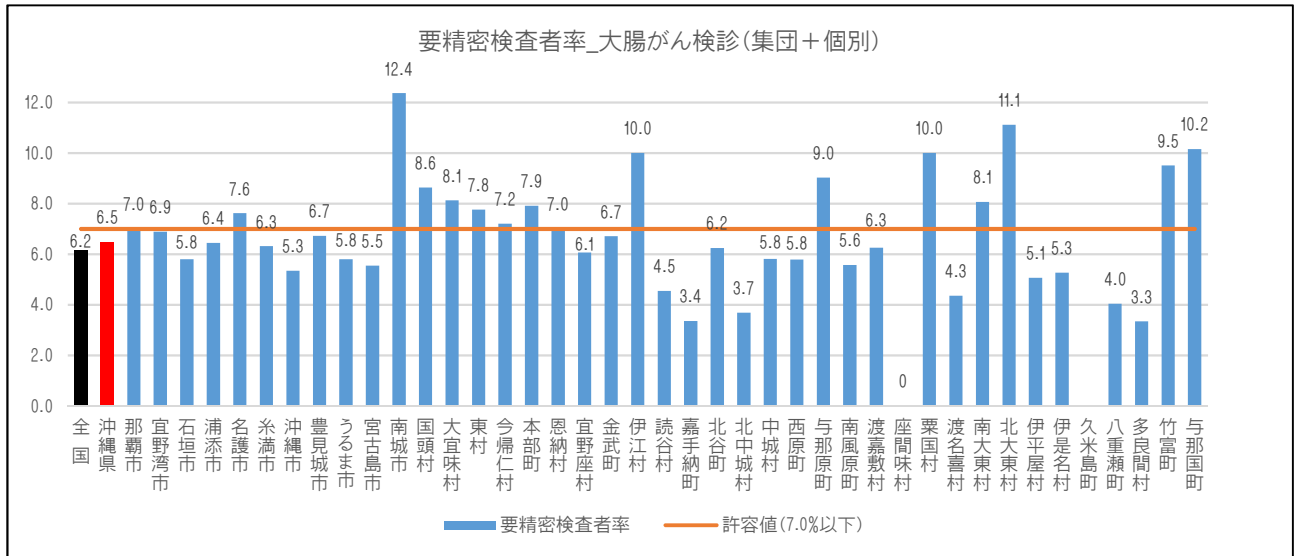
	総数		
	対象者数	受診者数	受診率 3)
	大腸がん	大腸がん	大腸がん
全国	51,254,815	3,962,860	7.7
沖縄県	581,013	45,850	7.9
那覇市	129,853	9,974	7.7
宜野湾市	38,399	2,607	6.8
石垣市	20,965	1,090	5.2
浦添市	45,179	3,639	8.1
名護市	23,343	1,577	6.8
糸満市	23,642	1,911	8.1
沖縄市	55,593	4,681	8.4
豊見城市	24,500	1,476	6.0
うるま市	48,347	3,505	7.2
宮古島市	22,844	957	4.2
南城市	17,204	1,508	8.8
国頭村	1,974	259	13.1
大宜味村	1,308	129	9.9
東村	816	126	15.4
今帰仁村	3,828	424	11.1
本部町	5,292	563	10.6
恩納村	4,149	562	13.5
宜野座村	2,242	248	11.1
金武町	4,362	557	12.8
伊江村	1,957	261	13.3
読谷村	16,672	1,345	8.1
嘉手納町	5,253	557	10.6
北谷町	11,220	1,027	9.2
北中城村	6,878	788	11.5
中城村	8,194	684	8.3
西原町	13,819	1,096	7.9
与那原町	7,392	772	10.4
南風原町	14,502	1,240	8.6
渡嘉敷村	286	32	11.2
座間味村	394	88	22.3
粟国村	292	28	...
渡名喜村	151	19	12.6
南大東村	521	47	9.0
北大東村	256	44	17.2
伊平屋村	501	63	12.6
伊是名村	592	92	15.5
久米島町	3,210	269	8.4
八重瀬町	12,058	1,128	9.4
多良間村	490	75	15.3
竹富町	1,798	279	15.5
与那国町	737	123	16.7

3) 受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値である。

②要精密検査率（平成30年度受診者 40～74歳） 要精密検査者数／受診者数×100

要精密検査率は、受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、0よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は7.0%以下とされています。

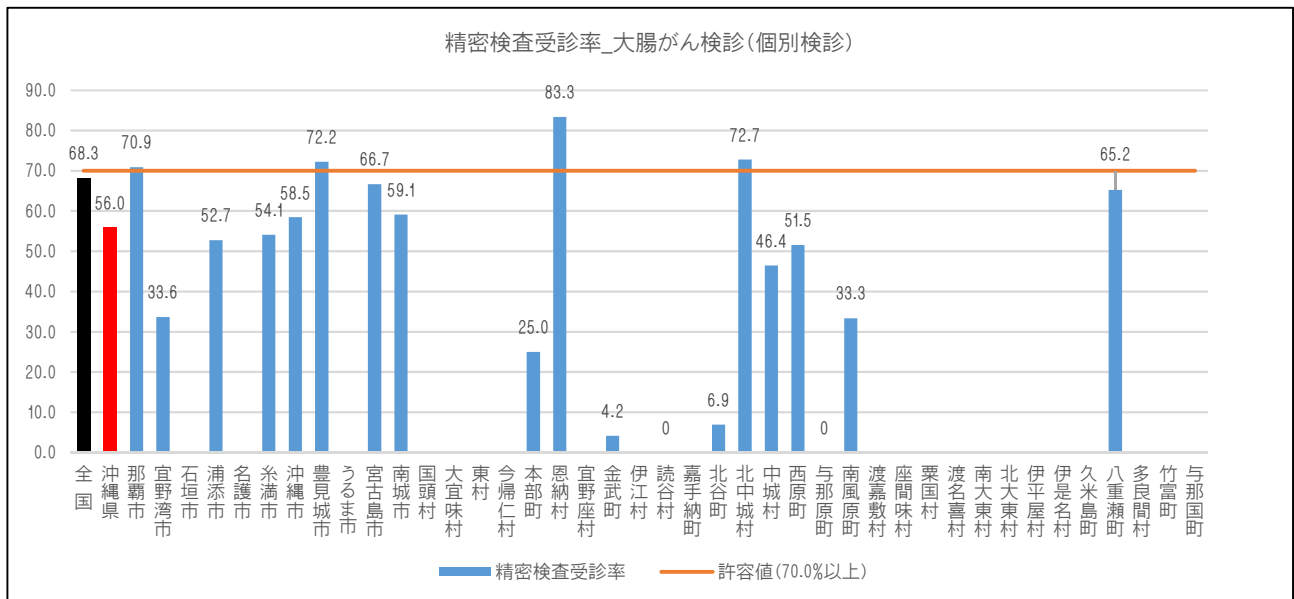
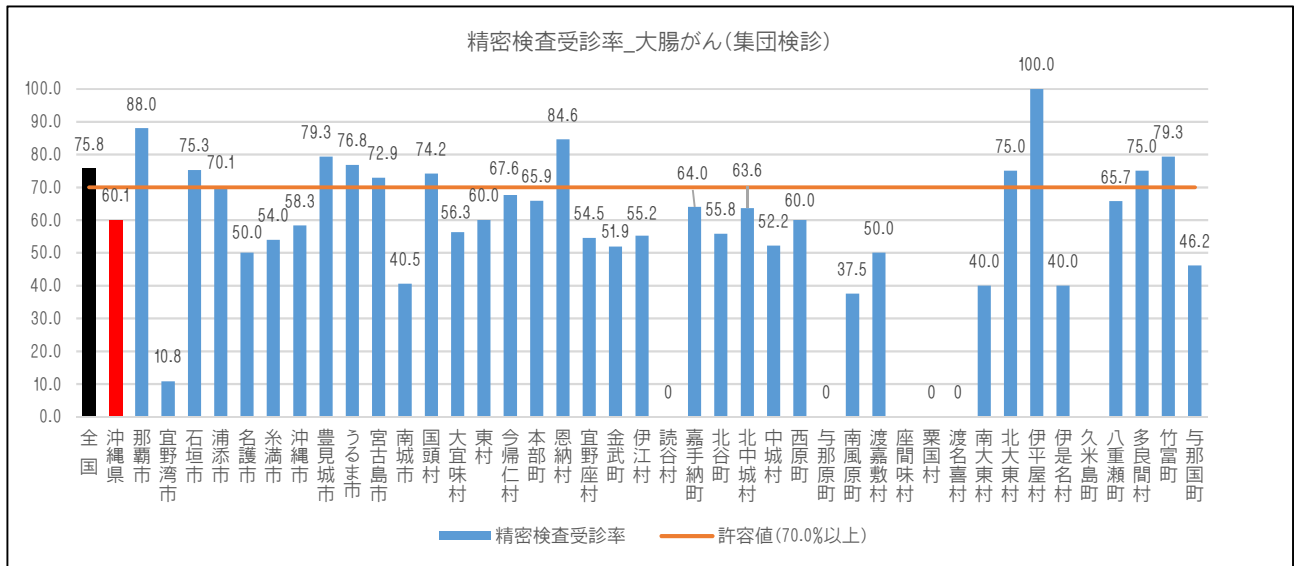
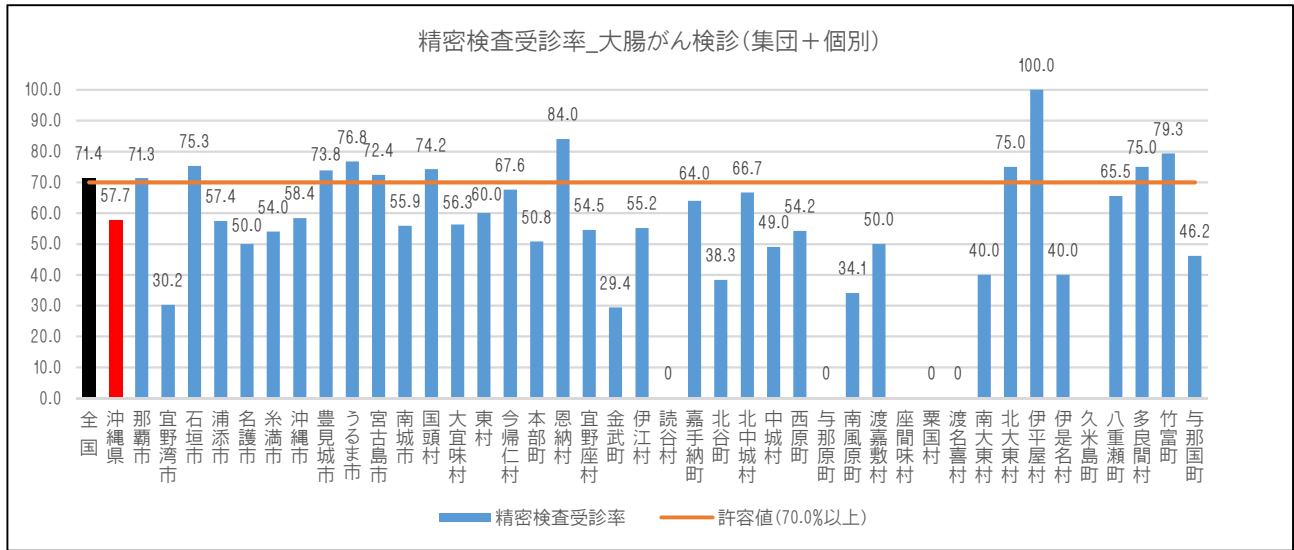
沖縄県全体では6.5%と、許容値を満たしています。



③精検受診率（平成30年度受診者 40～74歳） 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、目標値は90%以上、許容値は70%以上です。

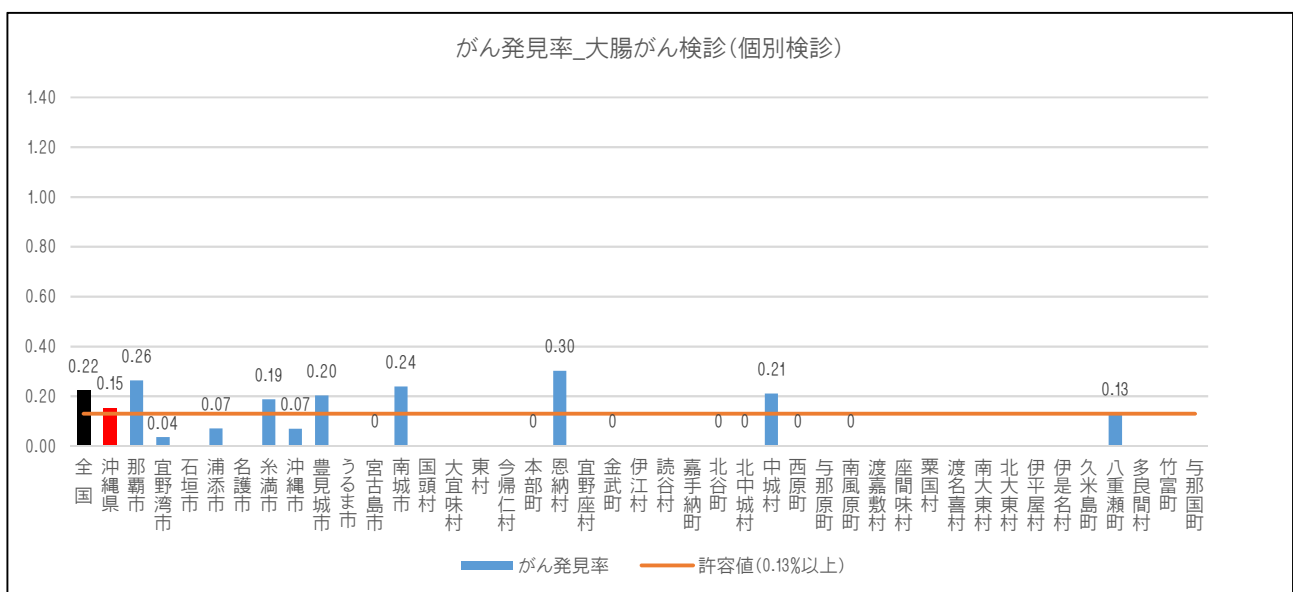
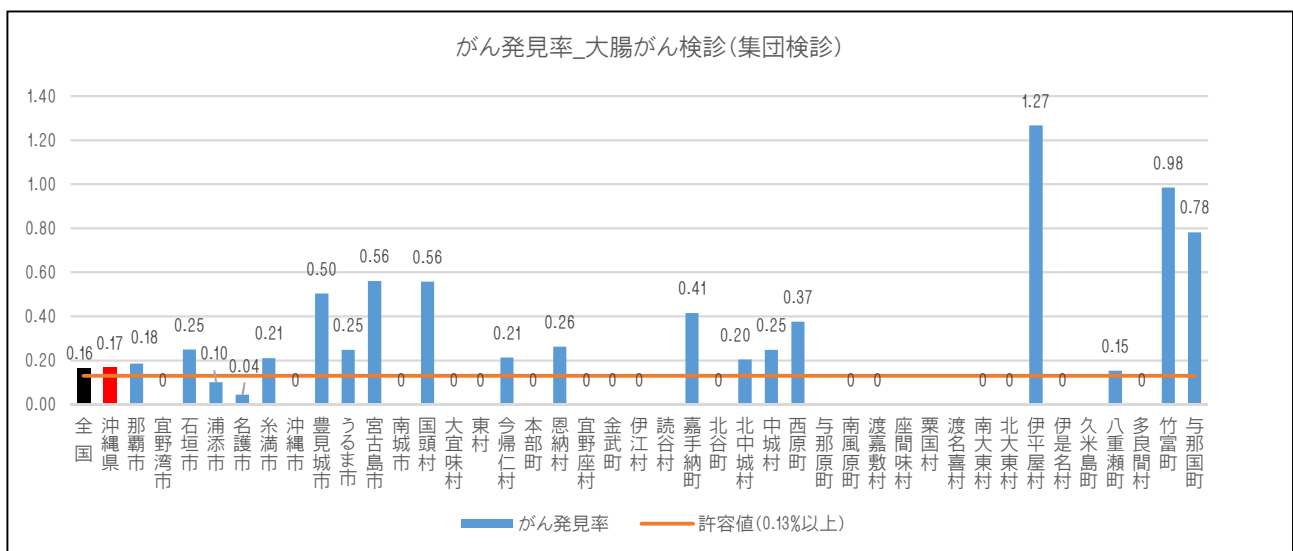
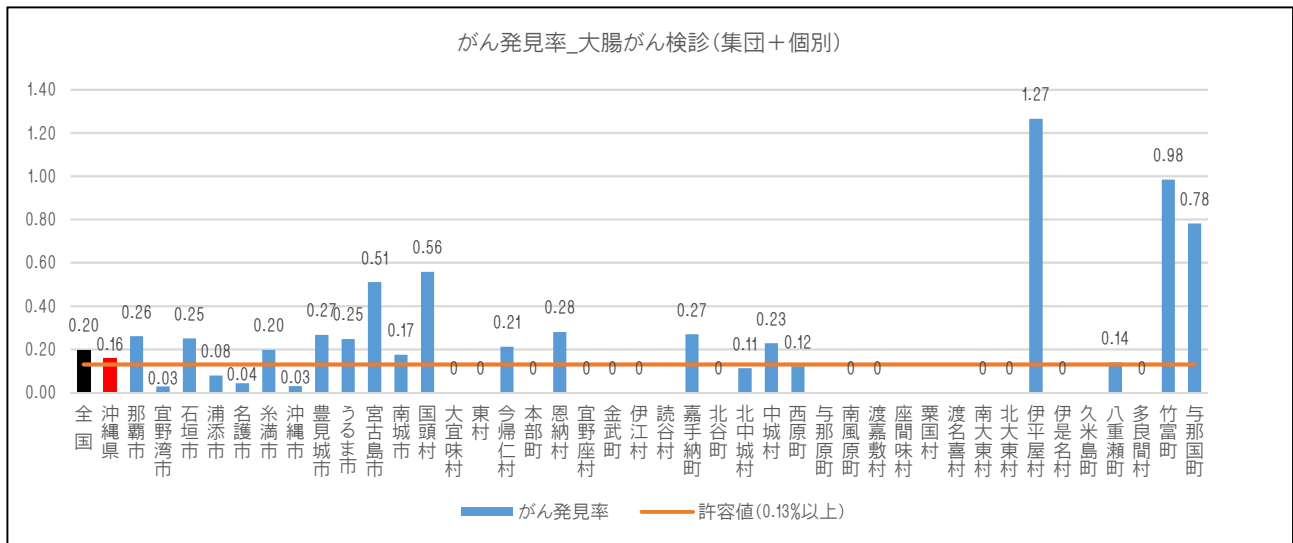
沖縄県全体では57.7%となっており、許容値を満たしていません。



④がん発見率（平成 30 年度受診者 40～74 歳）  $\text{がんであった者} / \text{受診者数} \times 100$

がん発見率は、受診された方のうち、がんが発見された方の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要です。許容値は 0.13%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が高い地区では低くなることがあります。

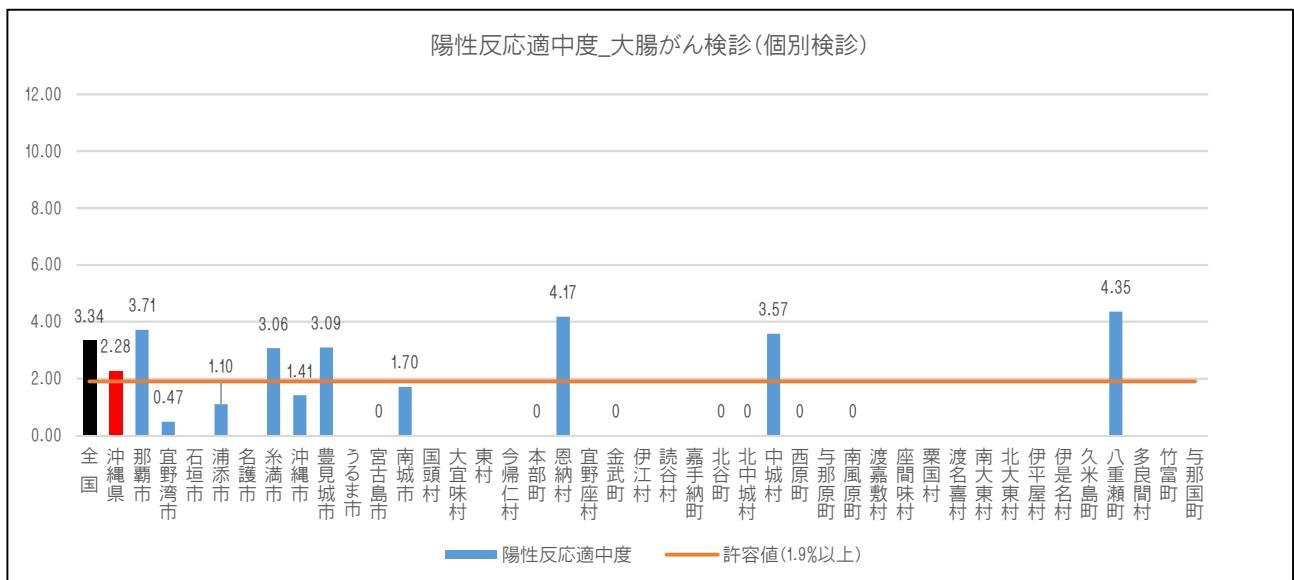
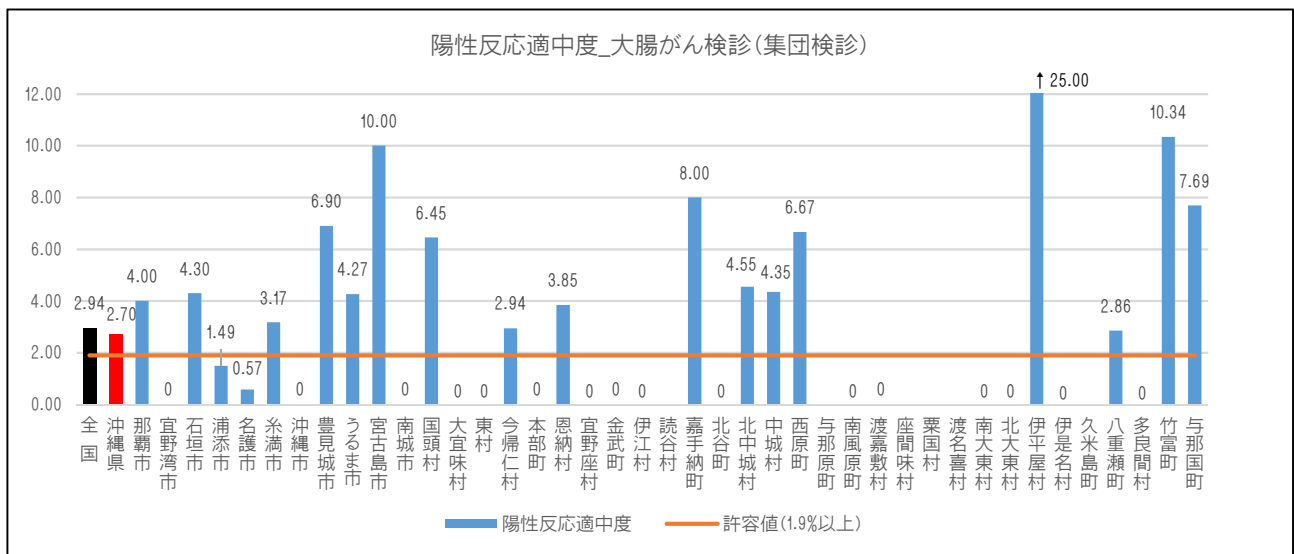
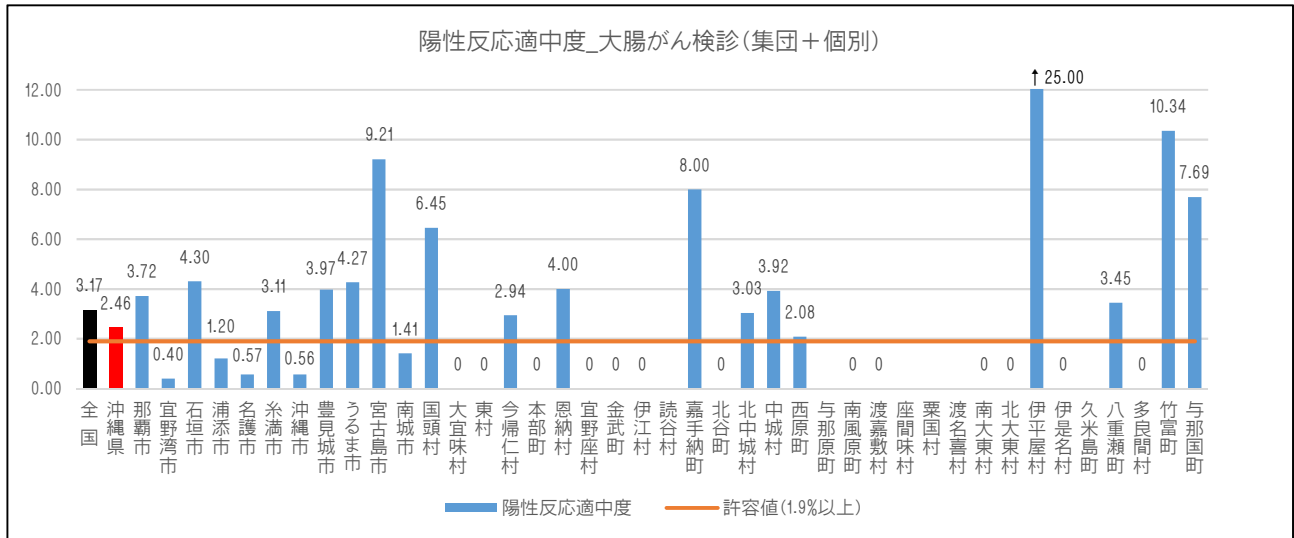
沖縄県全体では 0.16%となっており、許容値を満たしています。



⑤陽性反応適中度（平成30年度受診者 20～74歳） がんであった者／要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた方のうち、がんがあった方の割合で、一定の範囲内にあることが望ましいです。許容値 1.9%以上とされていますが、若年層や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

当県全体では2.46%となっており、許容値を満たしています。





**【集計・評価の目的】**

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。精度管理が適切に行われているかどうかを確認する目的で国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県において健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業としてがん検診を行う県内全市町村分を集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

**【集計・評価の対象とする調査等】**

1. 国立がん研究センター「令和2年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和元年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標（プロセス指標）

**【調査等の概要及び評価】****調査1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査****《調査内容》**

肺がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」として整理されています。

本調査は、令和2年度における当該チェックリストの遵守状況および平成30年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

**《調査項目と評価基準》**

調査項目は、市町村用チェックリスト56項目（うち評価対象は51項目）です。また、今回の評価は集団検診のみを対象とし、個別検診は対象外（参考値）とします。

評価基準は以下の5段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

A：チェックリストをすべて満たしている

B：チェックリストを一部満たしていない

C：チェックリストを相当程度満たしていない

D：チェックリストを大きく逸脱している

E：チェックリストをきわめて大きく逸脱している

-：検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」：平成20年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

非実施項目数（×の数）

[集団検診] 5段階評価 A:0、B:1-4、C:5-8、D:9-15、E:16以上（全国の実施状況参考）

[個別検診] 5段階評価 A:0、B:1-8、C:9-15、D:16-24、E:25以上（全国の実施状況参考）

《結果》

1-1 市町村（集団検診）

市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価
那覇市	C	B	今帰仁村	D	E	渡嘉敷村	E	E
宜野湾市	E	E	本部町	E	E	座間味村	E	E
石垣市	未実施	E	恩納村	E	E	粟国村	E	E
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	E	E
名護市	C	C	金武町	E	E	南大東村	C	D
糸満市	D	D	伊江村	D	E	北大東村	E	E
沖縄市	C	C	読谷村	E	E	伊平屋村	C	B
豊見城市	E	E	嘉手納町	D	D	伊是名村	D	E
うるま市	E	C	北谷町	E	E	久米島町	未実施	E
宮古島市	未実施	C	北中城村	C	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	E	E
国頭村	E	C	西原町	E	E	竹富町	D	C
大宜味村	B	未提出	与那原町	E	E	与那国町	E	C
東村	E	E	南風原町	E	E			

1-2 市区町村（参考：個別検診 [評価対象外]）

市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価
那覇市	B	B	今帰仁村	-	-	渡嘉敷村	-	-
宜野湾市	D	E	本部町	E	E	座間味村	-	-
石垣市	-	-	恩納村	D	D	粟国村	-	-
浦添市	E	E	宜野座村	-	-	渡名喜村	-	-
名護市	-	-	金武町	E	E	南大東村	-	-
糸満市	E	E	伊江村	E	E	北大東村	-	-
沖縄市	C	D	読谷村	E	E	伊平屋村	-	-
豊見城市	E	E	嘉手納町	-	-	伊是名村	-	-
うるま市	E	E	北谷町	E	E	久米島町	-	-
宮古島市	B	B	北中城村	C	C	八重瀬町	E	E
南城市	D	D	中城村	E	D	多良間村	-	-
国頭村	-	-	西原町	E	E	竹富町	-	-
大宜味村	-	-	与那原町	D	E	与那国町	-	-
東村	E	未提出	南風原町	E	E			

集団検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R1	0	2	8	3	27	1	41
R2	0	1	6	6	25	0	38

個別検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R1	0	2	1	4	14	1	22
R2	0	2	2	4	14	0	22

## 2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標（プロセス指標）

### 《内容及び算定対象年齢》

がん検診の受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の5種類の事業評価指標（プロセス指標）について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和元年度）の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき40歳から69歳までとし、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に基づき40歳から74歳までとしています。

### 《評価基準》

評価基準は前述した厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました※。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は90%以上、許容値は70%以上とされています。

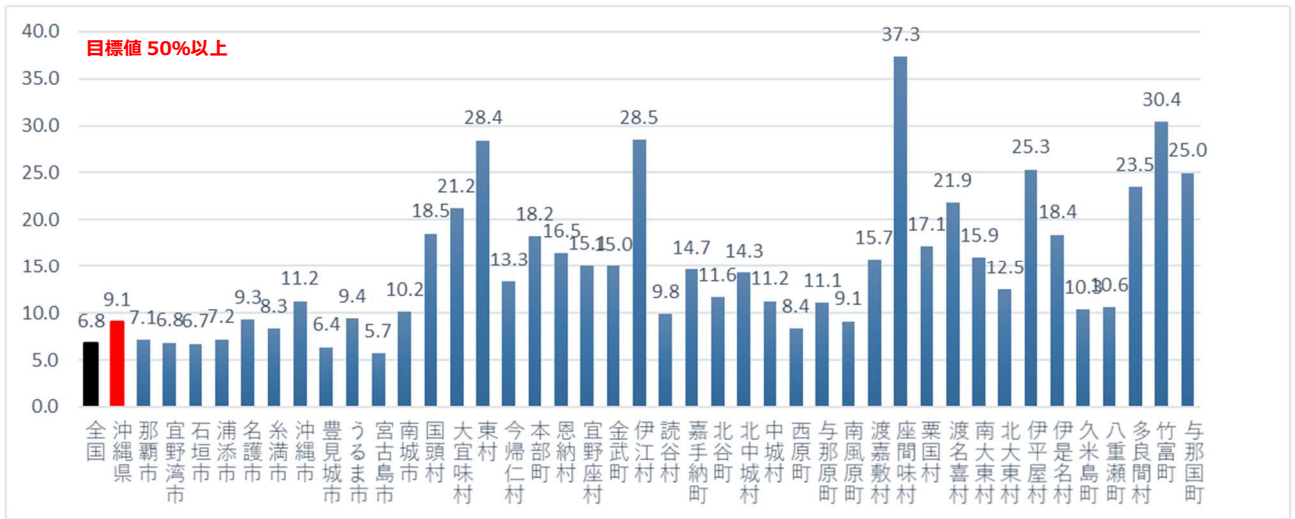
### 《結果：肺がん検診の精度管理指標数値（平成30年度検診実施分）》

※受診率のみ令和元年度検診実施分を示します。

※棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診の未実施により計数がない（ゼロ）」又は「検診を実施したが計数がない（ゼロ）」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は計数が算出できなかったことを示します。

① 受診率（令和元年度受診者 40～69 歳） 受診者数／対象者数×100

受診率は、肺がん検診対象者のうち受診者の割合です。高いことが望ましく、目標値は50%以上となっています。



男女計 肺がん検診受診率（胸部エックス線検査・総数） R1受診者

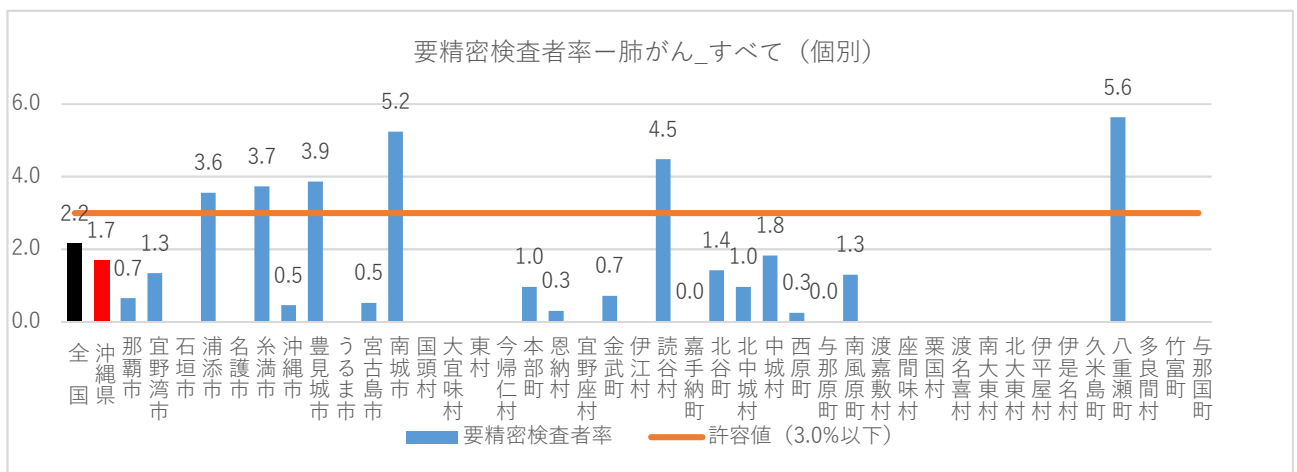
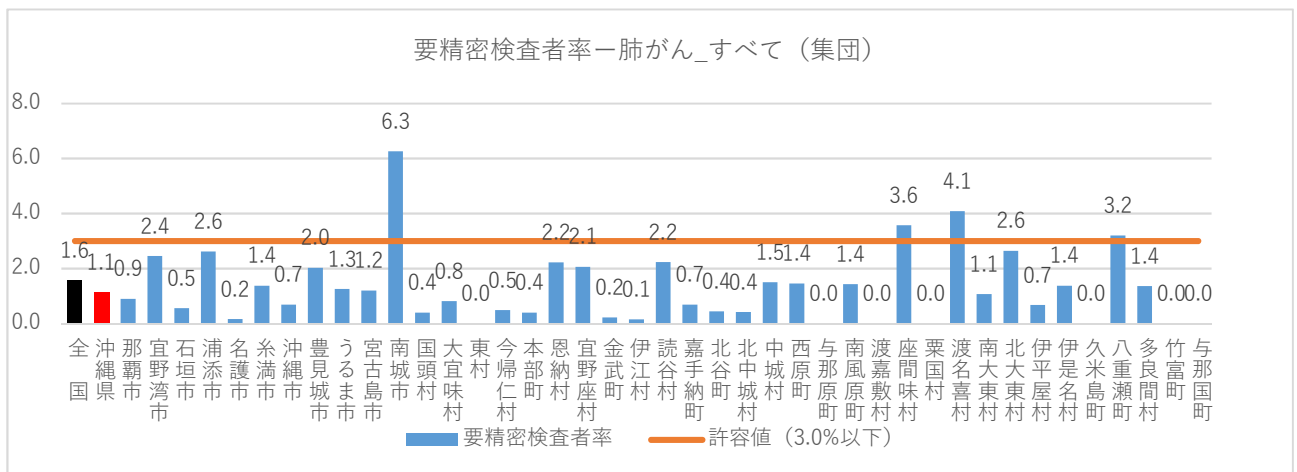
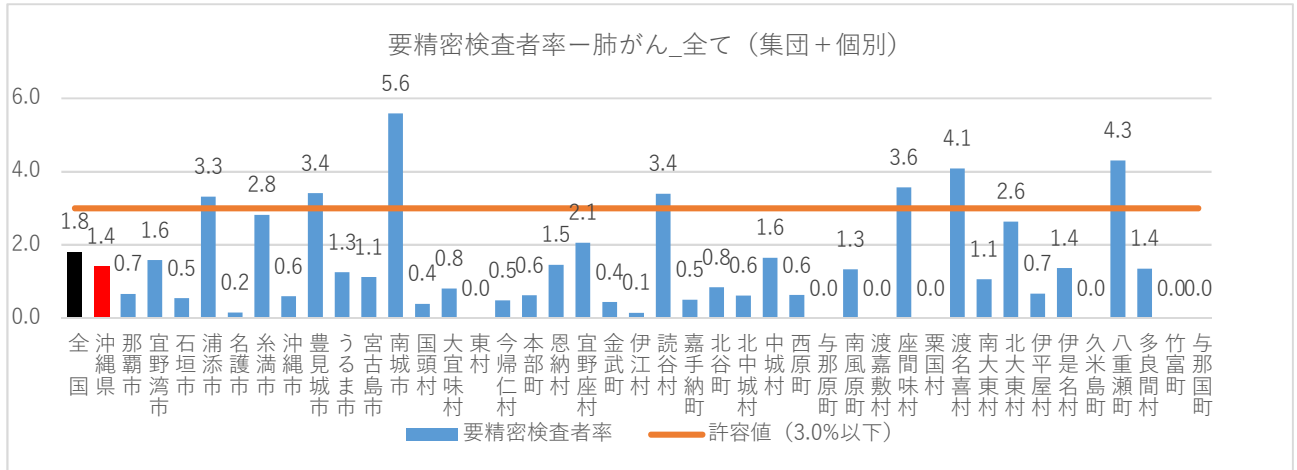
	総数	40～69歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全国	10.1	6.8	3.8	3.6	4.2	5.3	8.9	15.5	20.5	14.5
沖縄県	12.1	9.1	5.2	5.4	6.2	7.4	11.5	19.0	25.7	17.4
那覇市	9.5	7.1	4.2	4.2	5.5	6.1	8.8	14.5	21.1	13.5
宜野湾市	9.7	6.8	4.1	4.8	4.8	5.1	8.6	15.3	21.9	16.0
石垣市	7.4	6.7	4.1	4.3	5.1	5.8	8.4	11.8	16.1	6.3
浦添市	9.3	7.2	4.0	4.4	5.2	5.8	9.3	16.2	22.2	12.7
名護市	14.4	9.3	5.0	5.0	5.3	8.2	11.8	19.9	28.8	25.7
糸満市	10.2	8.3	4.7	4.6	5.5	6.6	10.0	17.3	20.2	13.1
沖繩市	14.1	11.2	7.2	6.7	8.0	9.6	14.3	23.7	30.3	18.0
豊見城市	8.2	6.4	3.9	3.8	4.6	5.4	9.0	12.9	19.9	11.1
うるま市	12.6	9.4	5.6	5.8	6.0	7.8	11.9	19.3	24.4	18.1
宮古島市	6.6	5.7	4.3	3.8	3.1	3.4	6.1	11.7	16.5	6.3
南城市	13.2	10.2	3.6	4.7	6.5	7.4	13.6	21.9	27.0	16.7
国頭村	28.3	18.5	7.9	10.0	11.0	12.0	22.9	32.6	51.9	43.4
大宜味村	29.2	21.2	9.8	8.8	12.6	17.2	23.3	37.1	46.5	40.5
東村	38.8	28.4	14.9	26.0	13.6	25.2	30.3	43.5	75.6	55.3
今帰仁村	15.2	13.3	7.5	6.2	9.2	13.5	15.1	21.3	21.5	17.1
本部町	27.0	18.2	6.7	10.5	11.0	13.1	20.1	34.5	43.0	43.9
恩納村	17.9	16.5	12.8	11.4	12.7	12.4	16.6	29.9	37.3	14.0
宜野座村	20.5	15.1	5.9	10.5	7.0	11.3	22.1	31.7	36.8	29.6
金武町	20.1	15.0	10.0	10.2	11.8	12.2	17.1	27.4	39.3	27.1
伊江村	35.3	28.5	16.3	17.6	22.1	23.9	30.3	46.4	54.4	46.2
読谷村	15.2	9.8	4.7	5.7	7.1	6.9	13.1	22.0	36.2	28.3
嘉手納町	18.3	14.7	8.2	10.3	9.1	12.6	18.6	28.8	32.7	24.3
北谷町	15.4	11.6	7.3	7.1	7.1	11.1	14.2	26.1	29.8	24.1
北中城村	18.5	14.3	7.5	8.1	10.0	12.0	19.1	31.6	38.7	25.7
中城村	14.4	11.2	6.3	6.2	6.8	8.1	16.0	25.4	40.6	17.8
西原町	11.5	8.4	4.3	4.2	4.4	6.4	10.2	19.6	30.6	15.9
与那原町	13.4	11.1	7.2	6.3	7.6	9.3	13.5	23.0	32.9	13.9
南風原町	12.5	9.1	3.9	4.8	6.7	8.1	11.6	21.0	30.3	19.9
渡嘉敷村	26.1	15.7	11.8	5.3	12.5	9.8	20.8	33.3	43.8	55.6
座間味村	42.4	37.3	35.6	34.4	39.4	23.6	48.3	46.0	40.0	61.8
粟国村	20.4	17.1	4.8	7.5	8.8	7.5	24.6	32.8	35.0	22.7
渡名喜村	27.5	21.9	0.0	27.3	20.8	8.1	20.7	41.0	34.6	34.8
南大東村	23.5	15.9	4.7	8.0	15.6	14.0	21.3	26.7	42.9	40.6
北大東村	18.5	12.5	13.0	8.8	10.2	13.0	3.7	28.6	39.1	36.8
伊平屋村	33.5	25.3	11.1	10.0	17.5	18.7	32.2	50.6	54.0	48.1
伊是名村	23.6	18.4	2.9	7.6	7.6	13.2	23.9	38.7	28.6	34.9
久米島町	14.7	10.3	5.0	5.1	5.7	8.8	13.3	18.7	29.7	21.4
八重瀬町	14.3	10.6	4.9	5.2	6.5	9.1	12.9	23.5	29.6	21.3
多良間村	31.5	23.5	10.2	11.4	16.7	20.0	26.3	48.9	42.3	49.1
竹富町	32.0	30.4	29.9	23.1	21.0	20.6	33.9	49.4	44.3	32.8
与那国町	30.9	25.0	13.5	19.9	11.4	23.2	35.4	42.7	56.8	46.0

厚生労働省「令和元年度 地域保健・健康増進事業報告」（R3.6公表）から集計

②要精検率（平成30年度受診者 40～74歳） 要精検者数／受診者数×100

要精検率は、受診者のうち精密検査が必要とされた者の割合で、0よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は3.0%以下とされていますが、肺の病気が多い地区では高くなることもあります。

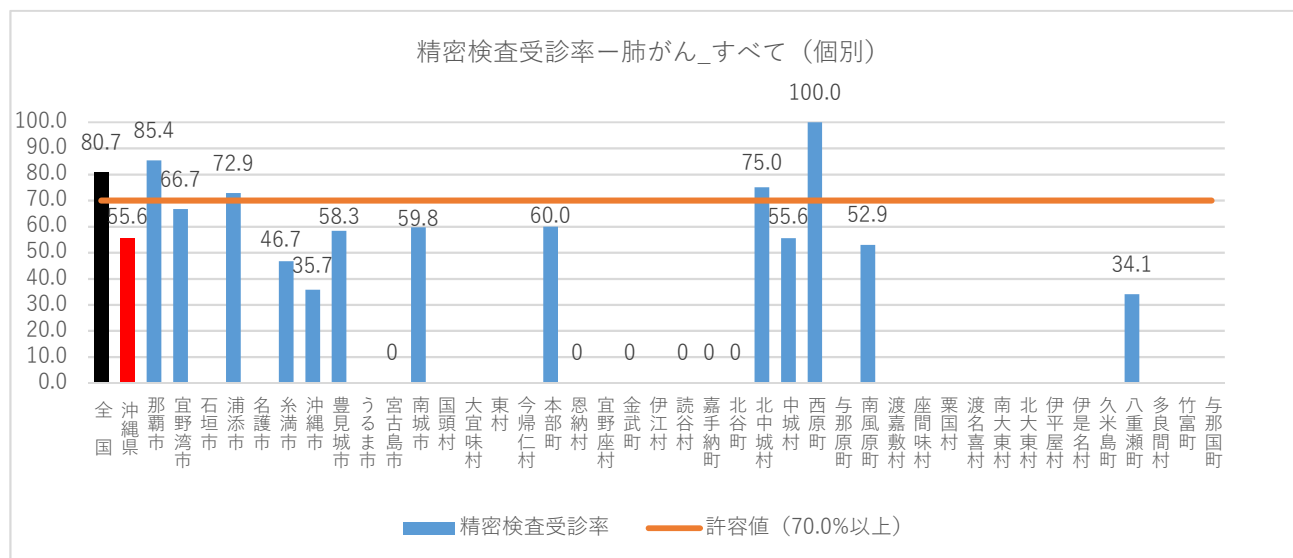
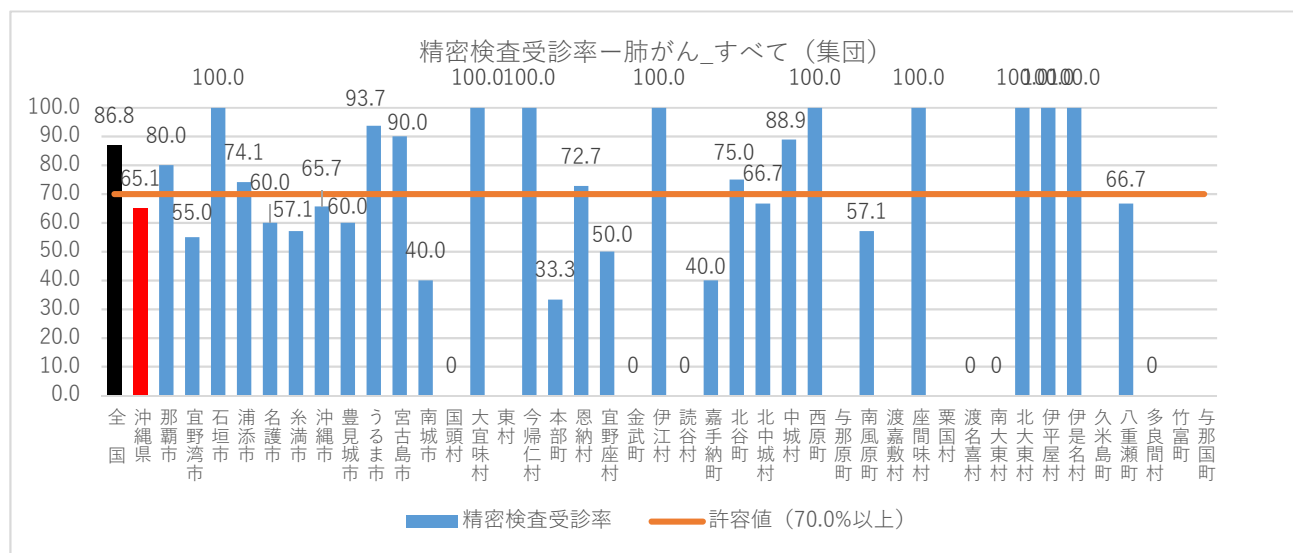
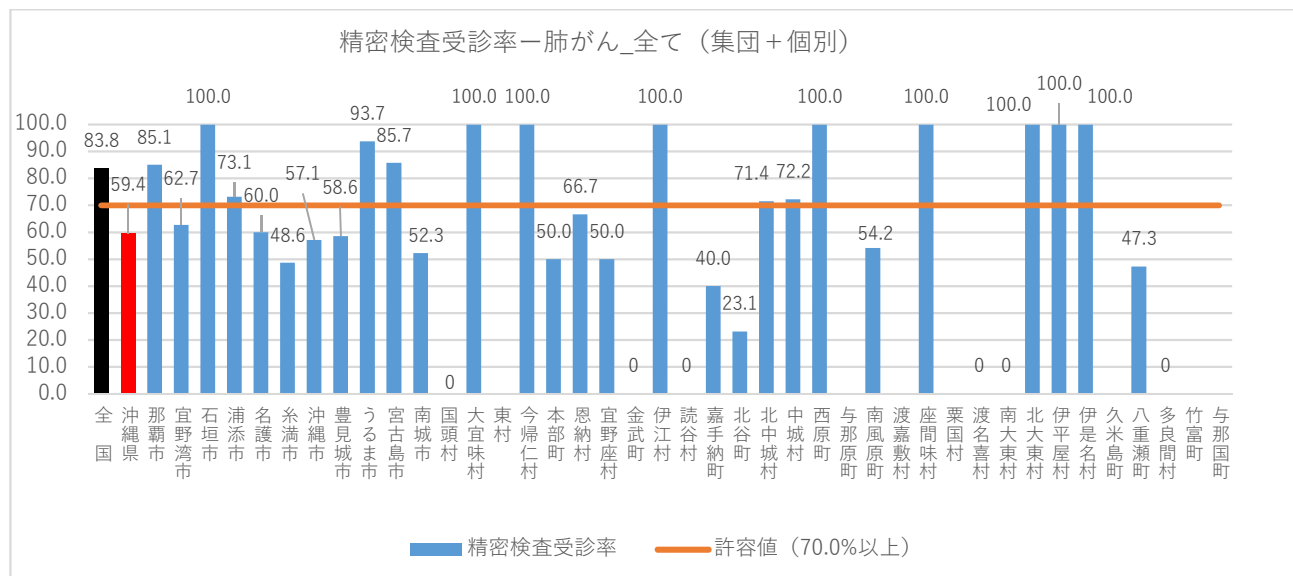
当県全体では許容値を満たしています（許容値の範囲内です）。



③精検受診率（平成30年度受診者 40～74歳） 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、目標値は90%以上、許容値は70%以上です。

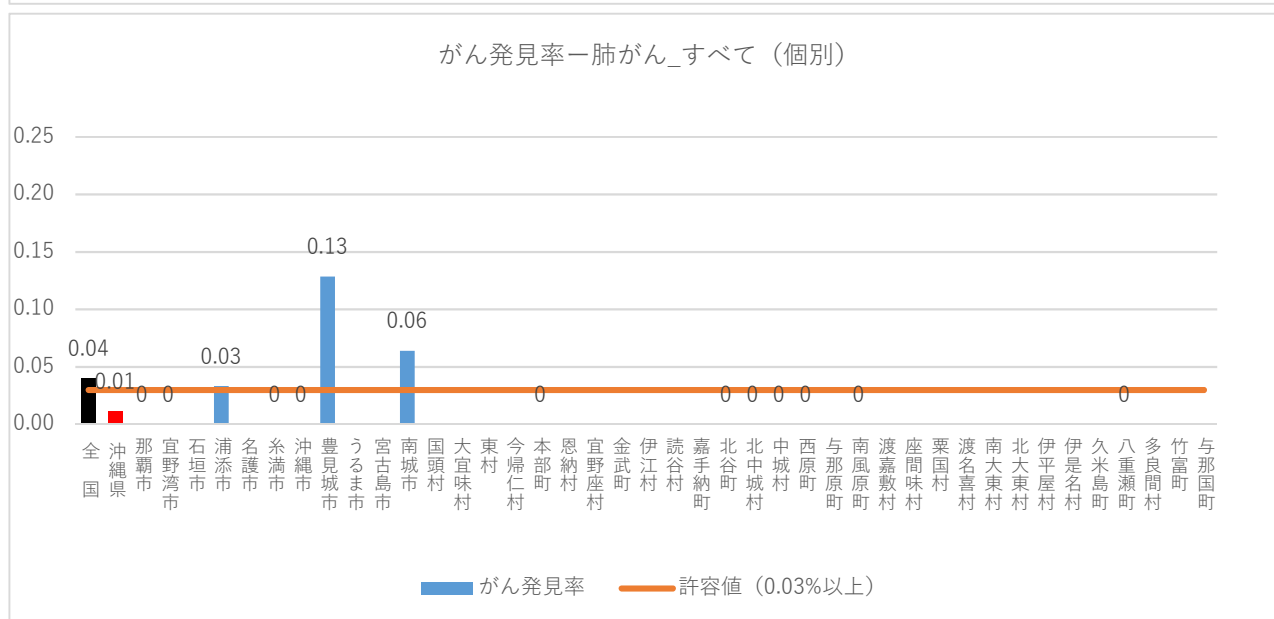
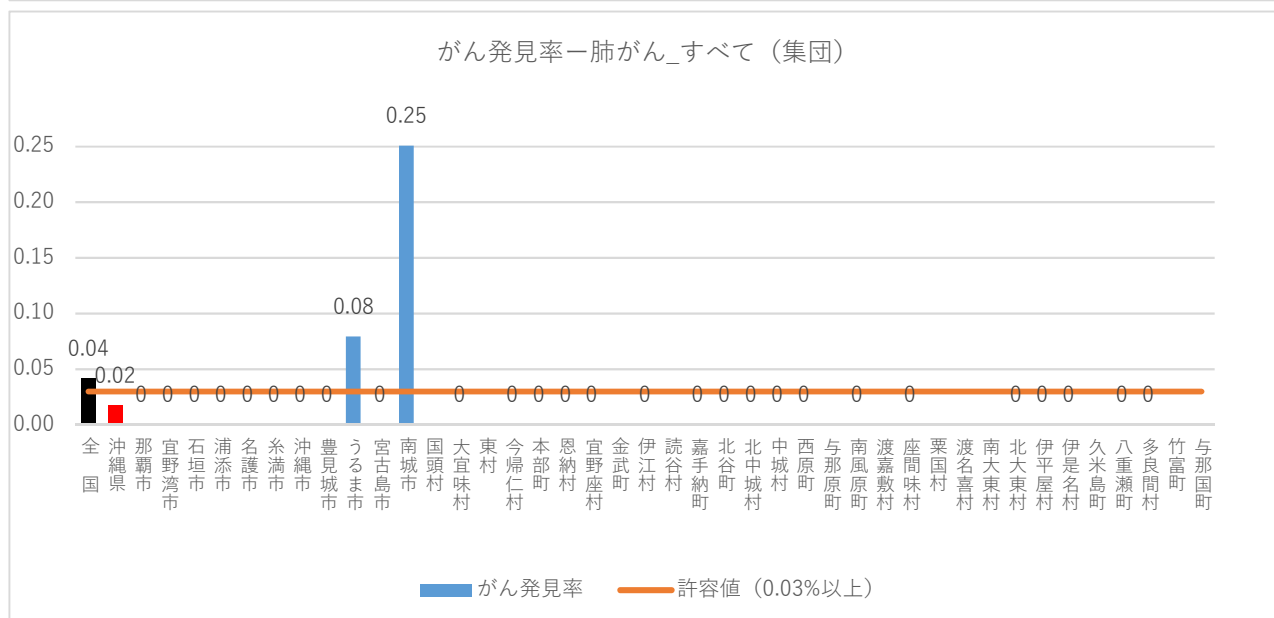
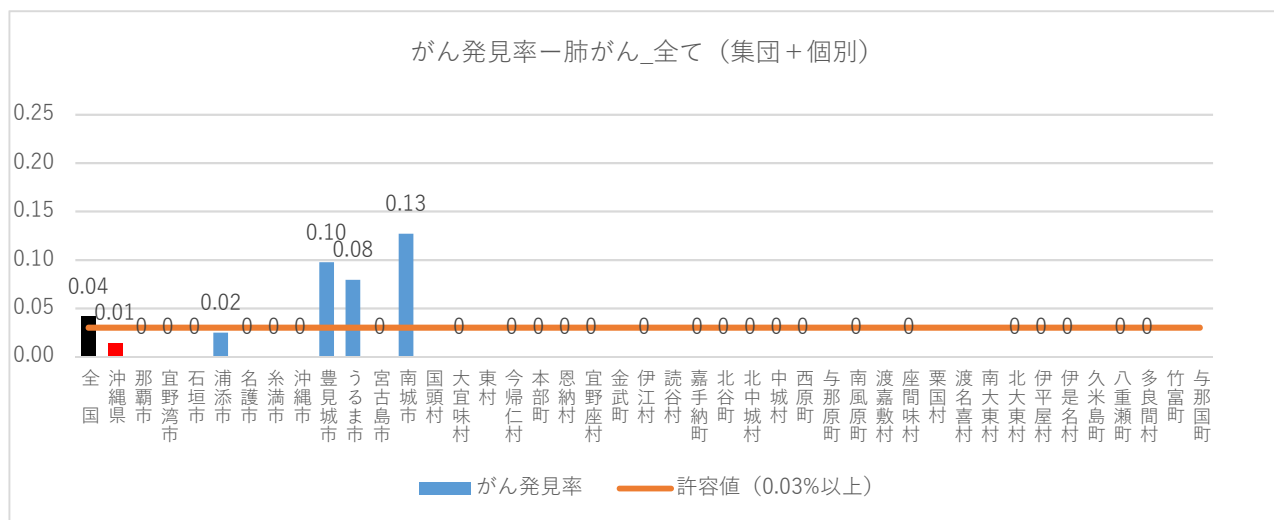
沖縄県全体では許容値を満たしていません。



④肺がん発見率（平成30年度受診者 40～74歳）  $\frac{\text{がんであった者}}{\text{受診者数}} \times 100$

肺がん発見率は、受診者のうち肺がんが発見された者の割合で高いことが望ましい指標です。許容値は0.03%以上とされていますが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

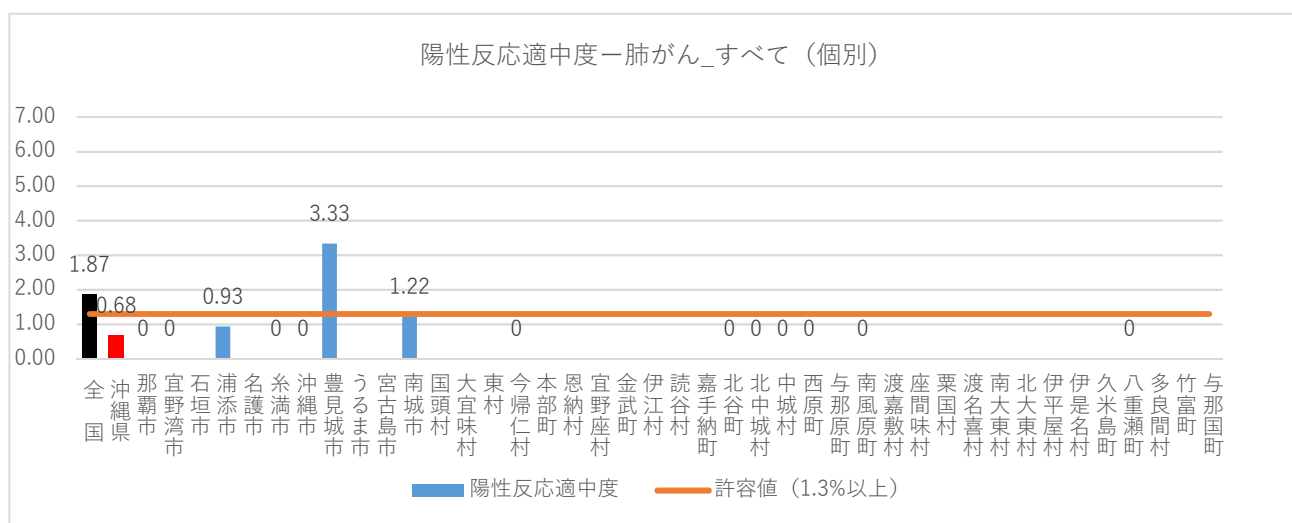
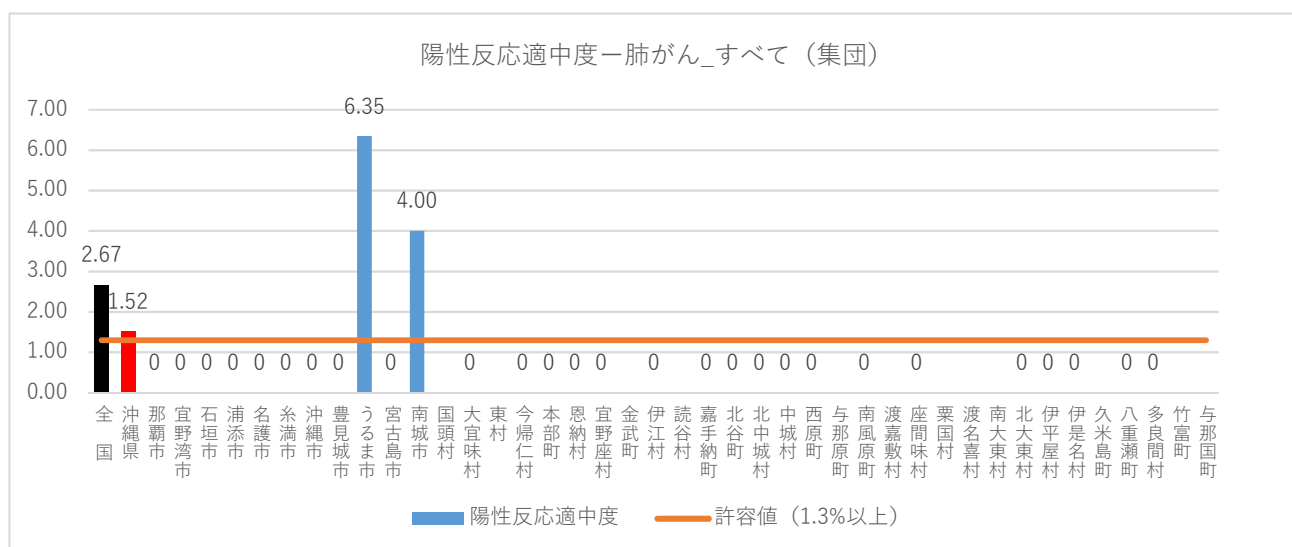
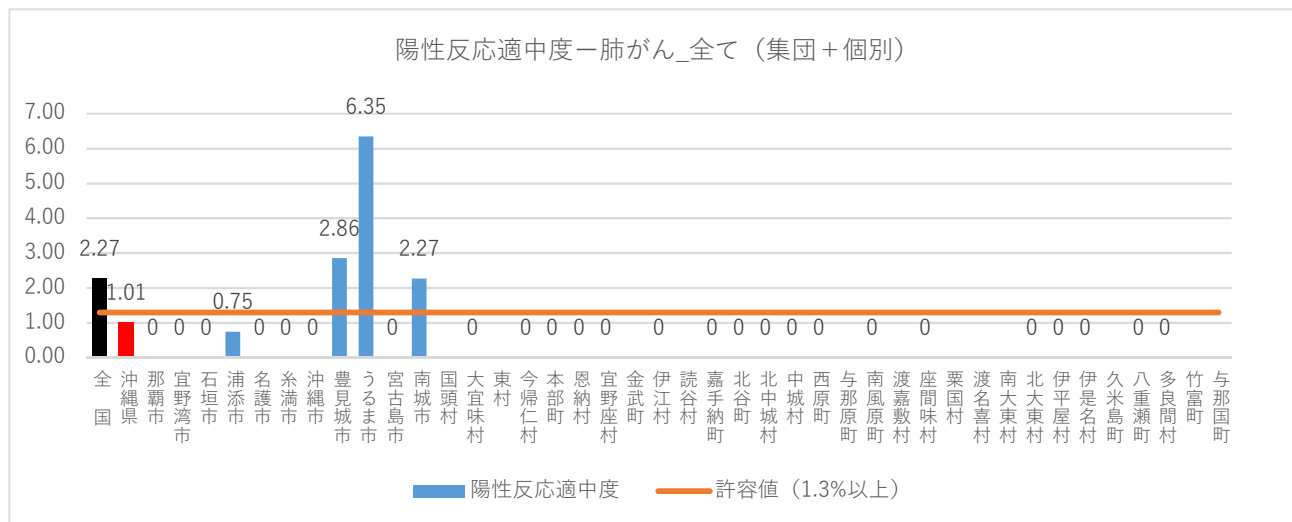
沖縄県全体では許容値を満たしていません。



⑤陽性反応適中度（平成30年度受診者 40～74歳） がんであった者／要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に肺がんがあった者の割合で、ある一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は1.3%以上とされていますが、若年者や女性の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

沖縄県全体では許容値を満たしていません。





## 令和2年度 市町村乳がん検診 精度管理状況の集計・評価

### 【集計・評価の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。精度管理が適切に行われているかどうかを確認する目的で国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県において健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業としてがん検診を行う県内全市町村分を集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

### 【集計・評価の対象とする調査等】

1. 国立がん研究センター「令和2年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和元年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標（プロセス指標）

### 【調査等の概要及び評価】

#### 調査1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査

##### 《調査内容》

乳がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト（市区町村用）」として整理されています。

本調査は、令和2年度における当該チェックリストの遵守状況および平成30年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

##### 《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町村用チェックリスト56項目（うち評価対象は55項目）です。また、今回の評価は集団検診のみを対象とし、個別検診は対象外（参考値）とします。

評価基準は以下の5段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

- A：チェックリストをすべて満たしている
- B：チェックリストを一部満たしていない
- C：チェックリストを相当程度満たしていない
- D：チェックリストを大きく逸脱している
- E：チェックリストをきわめて大きく逸脱している
- ：検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」：平成20年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

非実施項目数（×の数）

[集団検診] 5段階評価 A:0、B:1-4、C:5-8、D:9-14、E:15以上（全国の実施状況参考）

[個別検診] 5段階評価 A:0、B:1-7、C:8-11、D:12-20、E:21以上（全国の実施状況参考）

《結果》

1-1 市町村（集団検診）

市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価
那覇市	C	B	今帰仁村	D	E	渡嘉敷村	E	E
宜野湾市	-	—	本部町	-	E	座間味村	E	E
石垣市	B	E	恩納村	E	E	粟国村	E	E
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	E	E
名護市	C	C	金武町	-	E	南大東村	-	—
糸満市	D	D	伊江村	D	E	北大東村	-	—
沖縄市	-	—	読谷村	E	E	伊平屋村	C	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	E	D	伊是名村	D	E
うるま市	E	C	北谷町	-	—	久米島町	E	E
宮古島市	C	C	北中城村	C	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	E	E
国頭村	E	C	西原町	E	E	竹富町	D	—
大宜味村	B	未提出	与那原町	-	—	与那国町	E	C
東村	E	E	南風原町	E	E			

1-2 市区町村（参考：個別検診 [評価対象外]）

市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価
那覇市	B	B	今帰仁村	C	E	渡嘉敷村	-	-
宜野湾市	E	E	本部町	E	E	座間味村	-	E
石垣市	E	-	恩納村	E	E	粟国村	-	-
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	-	-
名護市	C	B	金武町	E	E	南大東村	E	C
糸満市	E	E	伊江村	D	E	北大東村	-	E
沖縄市	C	D	読谷村	E	E	伊平屋村	C	-
豊見城市	E	E	嘉手納町	E	E	伊是名村	-	-
うるま市	E	D	北谷町	E	E	久米島町	-	-
宮古島市	B	B	北中城村	D	C	八重瀬町	E	E
南城市	D	E	中城村	E	E	多良間村	-	-
国頭村	E	B	西原町	E	E	竹富町	C	-
大宜味村	B	未提出	与那原町	E	E	与那国町	-	-
東村	E	E	南風原町	E	E			

集団検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R1	0	1	7	2	23	1	34
R2	0	2	5	5	21	0	33

個別検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R1	0	4	2	2	22	1	31
R2	0	3	5	3	21	0	32

## **2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標（プロセス指標）**

### **《内容及び算定対象年齢》**

がん検診の受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の5種類の事業評価指標（プロセス指標）について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和元年度）の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき40歳から69歳までとし、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に基づき40歳から74歳までとしています。

### **《評価基準》**

評価基準は前述した厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました<sup>※</sup>。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は90%以上、許容値は80%以上とされています。

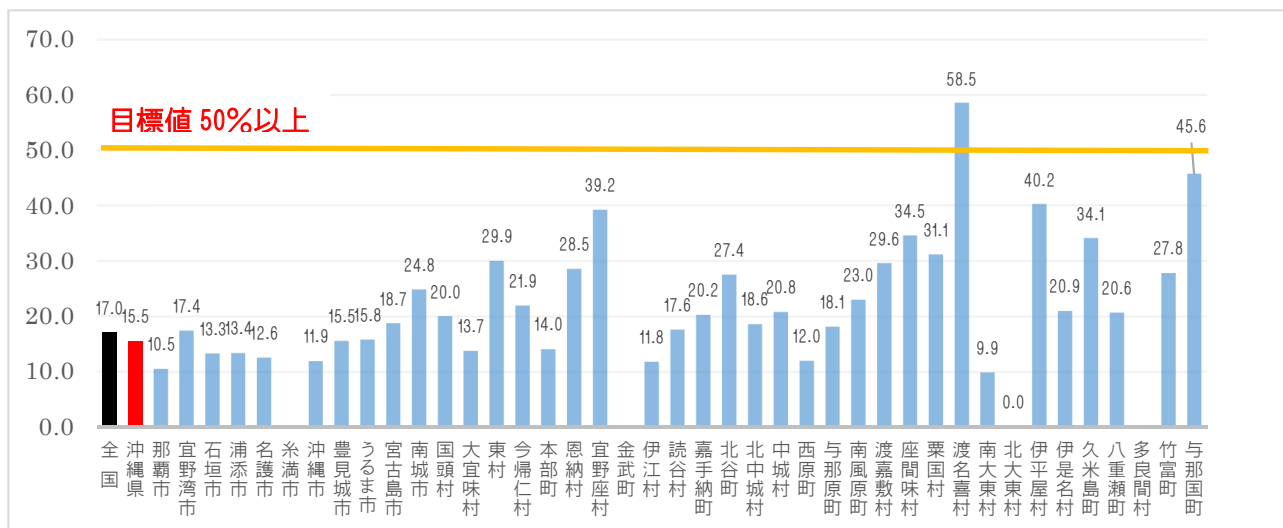
### **《結果：乳がん検診の精度管理指標数値（平成30年度検診実施分）》**

※受診率のみ令和元年度検診実施分を示します。

※棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診の未実施により計数がない（ゼロ）」又は「検診を実施したが計数がない（ゼロ）」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は計数が算出できなかったことを示します。

① 受診率（令和元年度受診者 40～69 歳） 受診者数／対象者数×100

受診率は、乳がん検診対象者のうち受診者の割合です。高いことが望ましく、目標値は50%以上となっています。

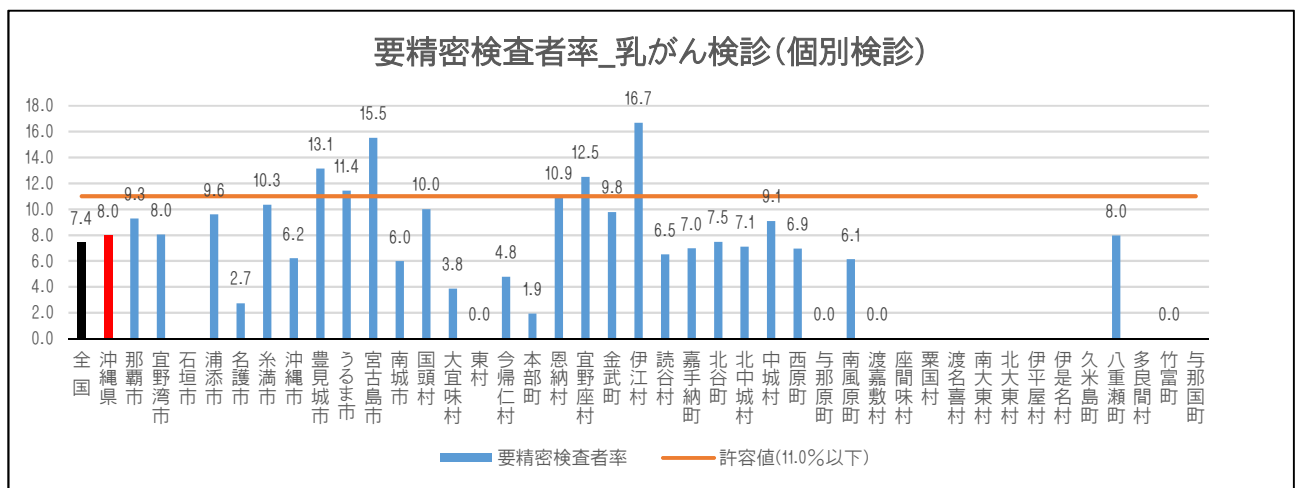
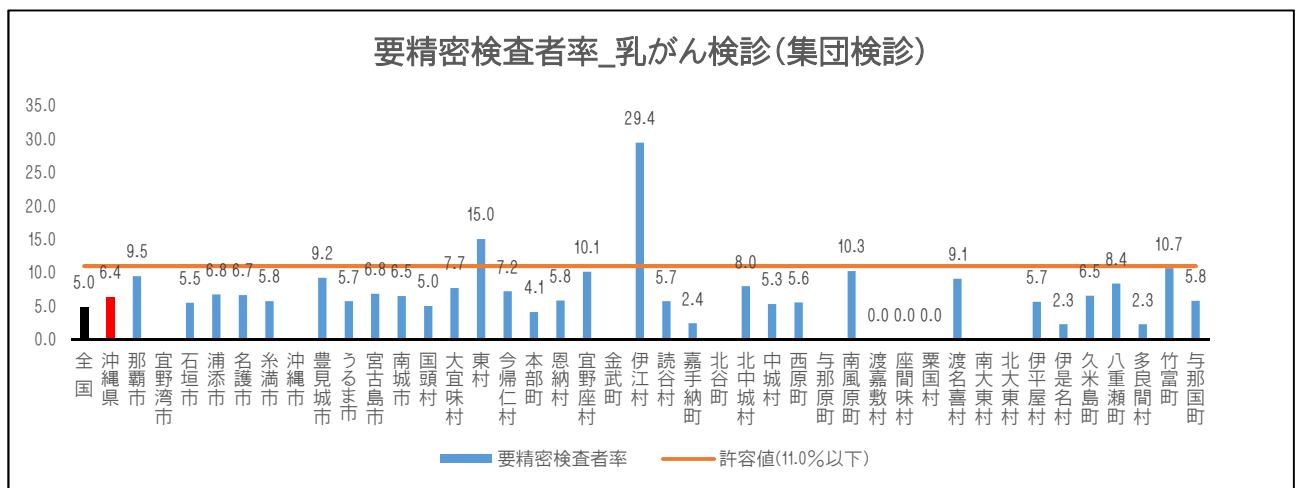
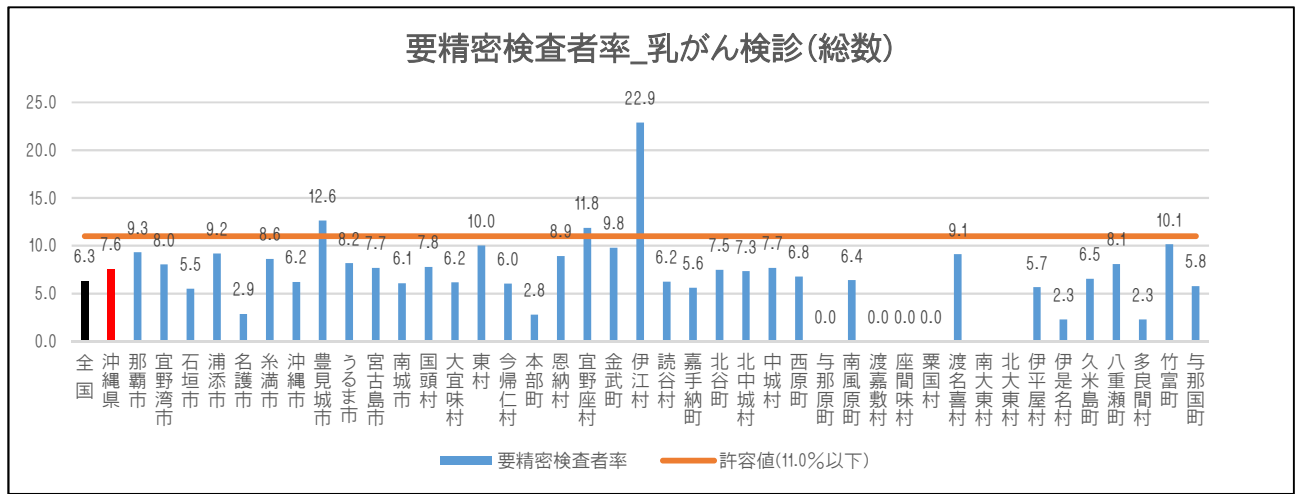


	総数				
	対象者数 1)	当該年度受診者数 1)	前年度受診者数 1)	2年連続受診者数 1)	受診率 2)
		(マンモグラフィ)	(マンモグラフィ)		
<b>全国</b>	<b>25,602,706</b>	<b>2,344,305</b>	<b>2,413,232</b>	<b>422,735</b>	<b>17.0</b>
<b>沖縄県</b>	<b>289,121</b>	<b>23,284</b>	<b>24,558</b>	<b>3,085</b>	<b>15.3</b>
那覇市	65,891	3,283	3,762	112	10.5
宜野湾市	19,591	1,707	1,707	-	17.4
石垣市	10,343	911	935	469	13.3
浦添市	23,184	1,514	1,586	-	13.4
名護市	11,538	750	708	9	12.6
糸満市	11,408	1,021	1,030	...	...
沖縄市	28,416	1,718	1,714	50	11.9
豊見城市	12,306	1,061	885	34	15.5
うるま市	23,519	1,862	1,908	62	15.8
宮古島市	10,974	1,027	1,046	19	18.7
南城市	8,216	1,265	1,189	416	24.8
国頭村	864	100	73	-	20
大宜味村	553	52	51	27	13.7
東村	344	57	51	5	29.9
今帰仁村	1,725	178	202	2	21.9
本部町	2,442	122	221	-	14
恩納村	1,913	340	307	102	28.5
宜野座村	1,072	264	254	98	39.2
金武町	2,061	284	261	...	...
伊江村	898	75	31	-	11.8
読谷村	8,254	1,007	944	500	17.6
嘉手納町	2,609	192	360	24	20.2
北谷町	5,862	795	814	-	27.4
北中城村	3,453	266	479	103	18.6
中城村	4,001	349	492	10	20.8
西原町	6,903	324	662	160	12
与那原町	3,740	462	462	248	18.1
南風原町	7,274	1,061	1,078	467	23
渡嘉敷村	115	23	21	10	29.6
座間味村	165	46	39	28	34.5
粟国村	106	26	13	6	31.1
渡名喜村	53	20	27	16	58.5
南大東村	192	19	-	-	9.9
北大東村	100	-	-	-	-
伊平屋村	204	56	49	23	40.2
伊是名村	239	30	38	18	20.9
久米島町	1,385	236	236	-	34.1
八重瀬町	5,919	621	600	-	20.6
多良間村	210	27	36	...	...
竹富町	781	24	193	-	27.8
与那国町	298	109	94	67	45.6

②要精密検査率（平成30年度受診者 40～74歳） 要精密検査者数／受診者数×100

要精密検査率は、受診者のうち精密検査が必要とされた者の割合で、0よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は11.0%以下とされています。

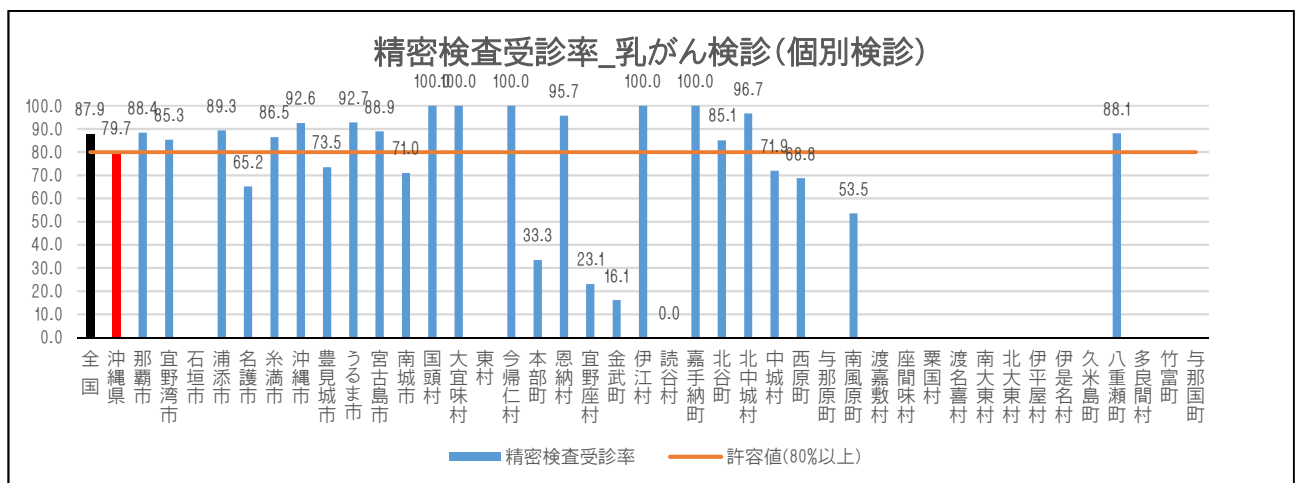
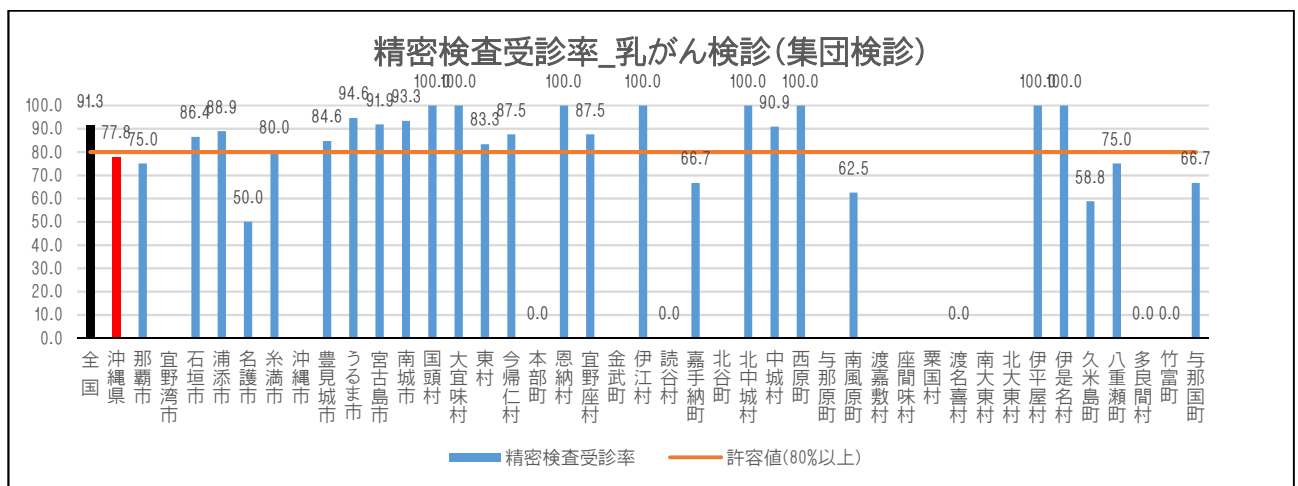
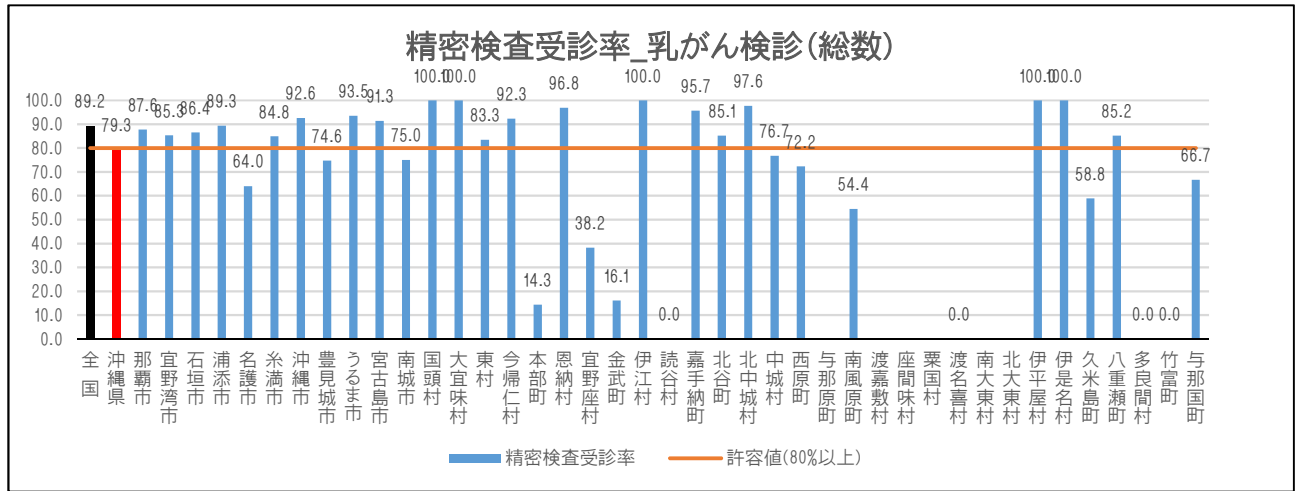
当県全体では7.6%と、許容値の範囲内となっています。



③精検受診率（平成30年度受診者 40～74歳） 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、目標値は90%以上、許容値は80%以上です。

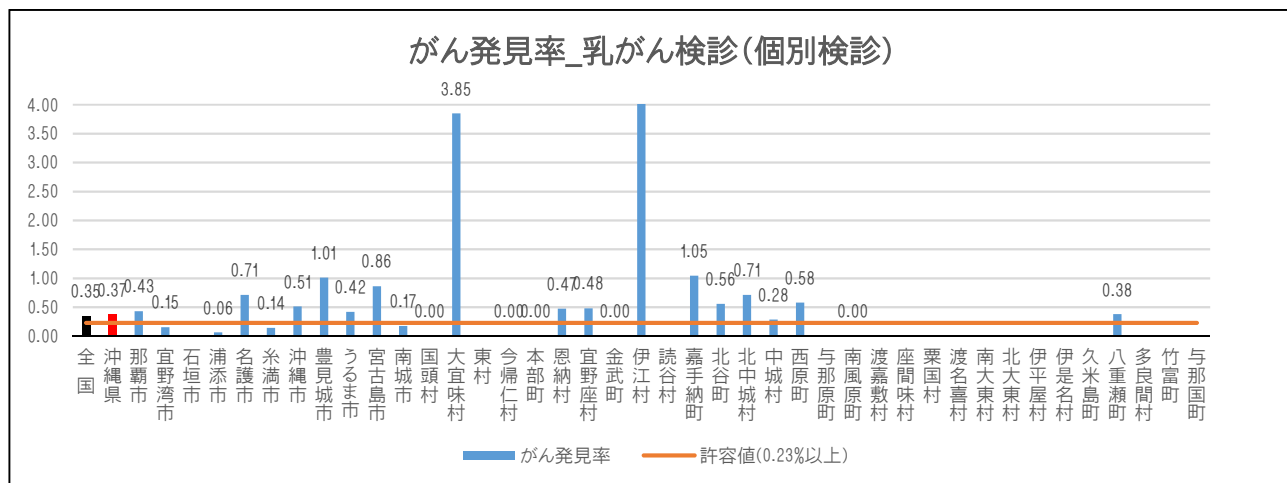
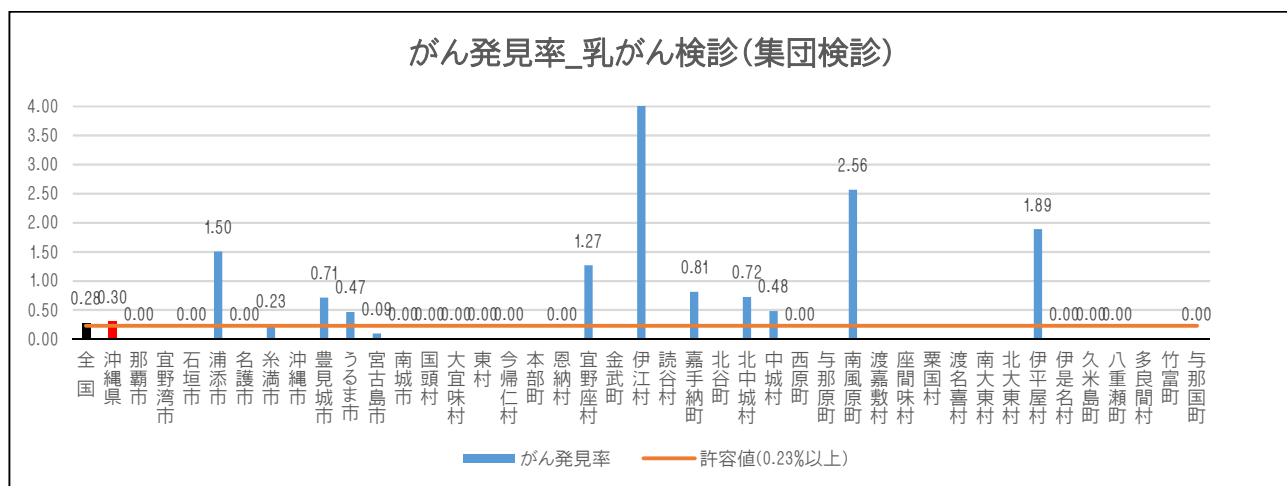
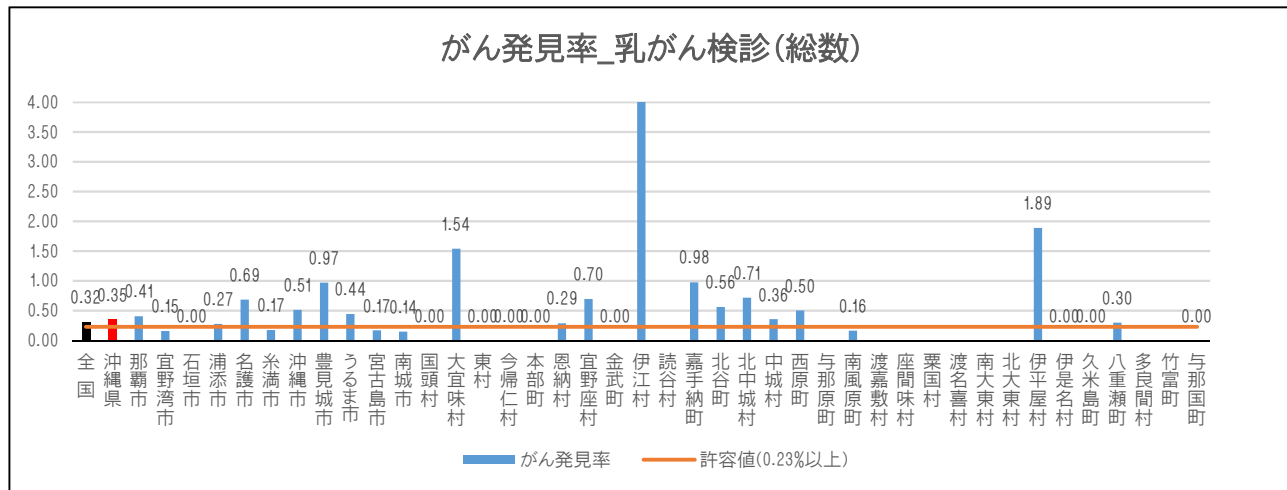
沖縄県全体では79.3%となっています。



#### ④乳がん発見率（平成30年度受診者 40～74歳） がんであった者／受診者数×100

乳がん発見率は、受診された方のうち乳がんが発見された方の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要となります。許容値は0.23%以上とされていますが、乳がん罹患の低い年齢層が多い地区では低くなる可能性があります。

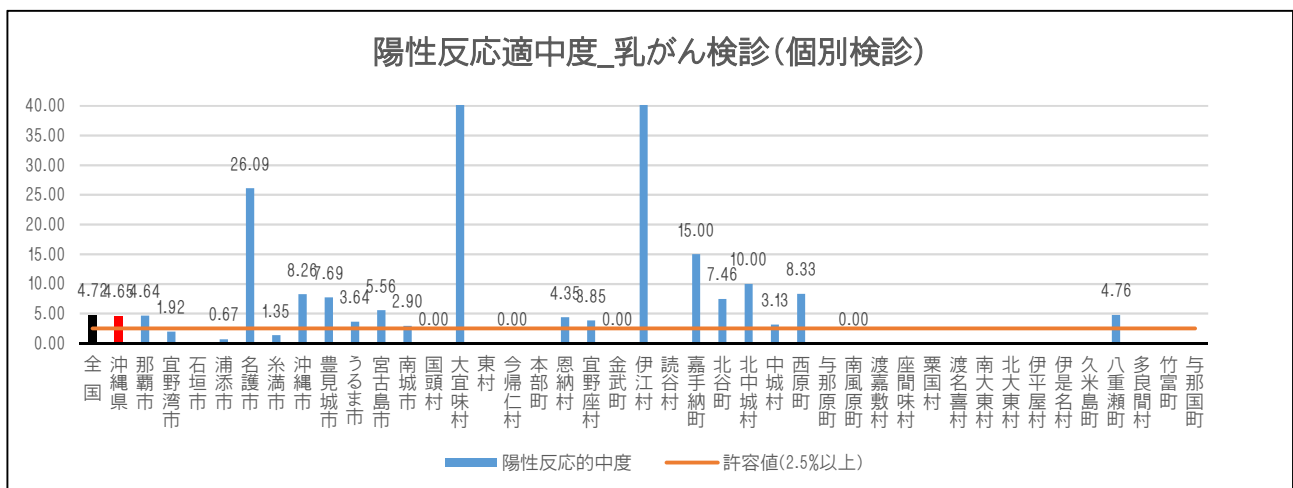
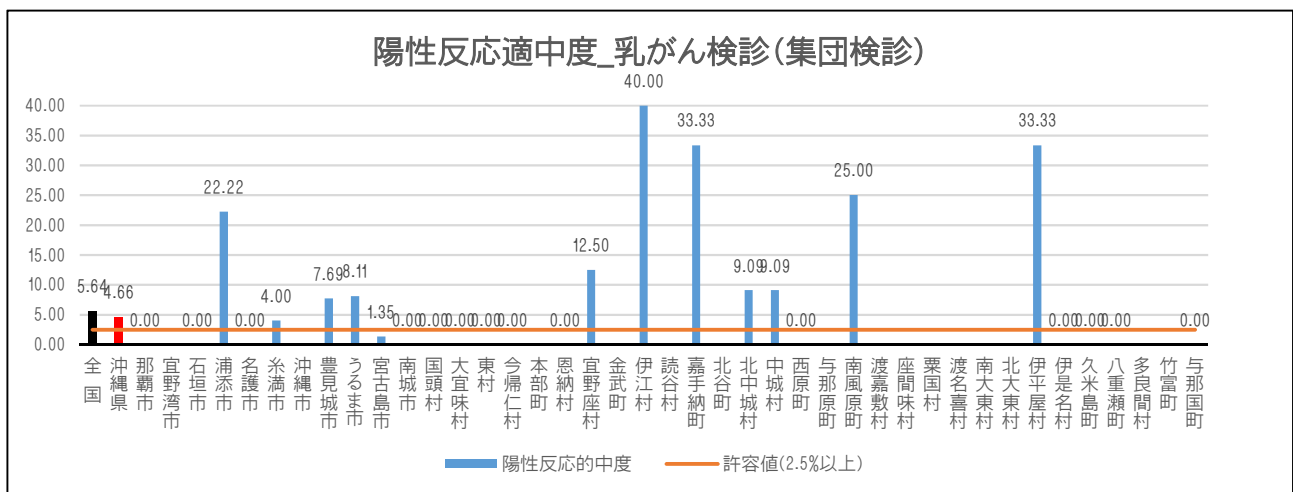
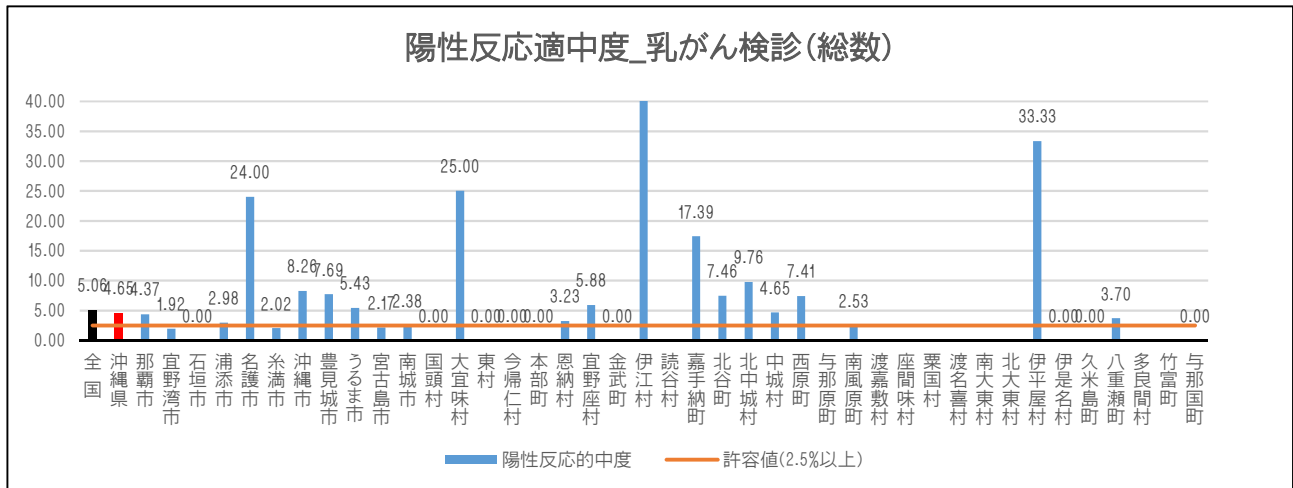
当県全体では0.35%と、許容値を満たしています。



⑤陽性反応適中度（平成30年度受診者 40～74歳） がんであった者／要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に乳がんがあった方の割合で、基本的には高いことが望ましいが、極端に高値あるは低値の場合は更に検討が必要となります。許容値は2.5%以上とされていますが、高濃度乳房や乳がん罹患が低い年齢層が多い地区では低くなることもあります。

当県全体では4.65%と許容値を満たしています。





## 令和2年度 市町村子宮頸がん検診 精度管理状況の集計・評価

### 【集計・評価の目的】

がん検診においては、精度管理が適切に行われなければ効果は得られないと考えられており、がん検診の精度管理はきわめて重要です。精度管理が適切に行われているかどうかを確認する目的で国立がん研究センター及び厚生労働省が行った調査結果をもとに、沖縄県において健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業としてがん検診を行う県内全市町村分を集計・分析し、評価を行いました。

なお、職域検診や人間ドックはこの調査の対象外です。

### 【集計・評価の対象とする調査等】

1. 国立がん研究センター「令和2年度 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査」
2. 厚生労働省「令和元年度 地域保健・健康増進事業報告」調査結果から集計した事業評価指標（プロセス指標）

### 【調査等の概要及び評価】

#### 調査1. がん検診チェックリストの使用に関する実態調査

##### 《調査内容》

子宮頸がん検診で整備すべき体制については、平成20年3月の厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の中で、「事業評価のためのチェックリスト(市区町村用)」として整理されています。

本調査は、令和2年度における当該チェックリストの遵守状況および平成30年度の検診結果の集計状況を確認することにより、市町村における検診体制の現状と課題を把握することを目的に行ったものです。

##### 《調査項目と評価基準》

調査項目は、市町村用チェックリスト56項目（うち評価対象は55項目）です。また、今回の評価は集団検診のみを対象とし、個別検診は対象外（参考値）とします。

評価基準は以下の5段階評価とし、「C」以下の市町村には改善をお願いする予定です。

A：チェックリストをすべて満たしている

B：チェックリストを一部満たしていない

C：チェックリストを相当程度満たしていない

D：チェックリストを大きく逸脱している

E：チェックリストをきわめて大きく逸脱している

-：検診自体の未実施、調査への無効回答又は指針以外の検査方法

※「指針」：平成20年3月厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」

非実施項目数（×の数）

[集団検診] 5段階評価 A:0、B:1-4、C:5-8、D:9-14、E:15以上（全国の実施状況参考）

[個別検診] 5段階評価 A:0、B:1-7、C:8-11、D:12-20、E:21以上（全国の実施状況参考）

《結果》

1-1 市町村（集団検診）

市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価
那覇市	C	B	今帰仁村	D	E	渡嘉敷村	E	E
宜野湾市	-	—	本部町	-	E	座間味村	E	E
石垣市	B	E	恩納村	E	E	粟国村	E	E
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	E	E
名護市	C	C	金武町	-	E	南大東村	C	D
糸満市	D	D	伊江村	D	E	北大東村	E	E
沖縄市	-	—	読谷村	E	E	伊平屋村	C	C
豊見城市	E	E	嘉手納町	D	D	伊是名村	D	E
うるま市	E	D	北谷町	-	—	久米島町	E	E
宮古島市	C	C	北中城村	C	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	E	E
国頭村	E	C	西原町	E	E	竹富町	-	C
大宜味村	B	未提出	与那原町	-	—	与那国町	E	C
東村	E	E	南風原町	E	E			

1-2 市区町村（参考：個別検診 [評価対象外]）

市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価	市町村	R2 評価	R1 評価
那覇市	B	B	今帰仁村	D	E	渡嘉敷村	-	-
宜野湾市	E	E	本部町	E	E	座間味村	-	E
石垣市	E	-	恩納村	D	D	粟国村	-	-
浦添市	E	E	宜野座村	E	E	渡名喜村	-	-
名護市	C	C	金武町	E	E	南大東村	-	-
糸満市	E	E	伊江村	D	D	北大東村	-	E
沖縄市	C	D	読谷村	E	E	伊平屋村	C	-
豊見城市	E	E	嘉手納町	E	E	伊是名村	-	-
うるま市	E	D	北谷町	E	E	久米島町	-	-
宮古島市	B	B	北中城村	D	C	八重瀬町	E	E
南城市	E	E	中城村	E	E	多良間村	-	-
国頭村	E	-	西原町	E	E	竹富町	E	B
大宜味村	B	未提出	与那原町	E	E	与那国町	-	-
東村	E	E	南風原町	E	E			

集団検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R1	0	1	7	4	24	1	37
R2	0	2	6	5	21	0	34

個別検診

	A	B	C	D	E	未提出	計
R1	0	3	2	4	20	1	30
R2	0	3	3	4	21	0	30

## **2. 厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」調査結果に基づく事業評価指標（プロセス指標）**

### **《内容及び算定対象年齢》**

がん検診の受診率、精検受診率、要精検率、がん発見率、陽性反応適中度の5種類の事業評価指標（プロセス指標）について、厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」（令和元年度）の確定値から分析します。

算定対象年齢は、受診率については「がん対策推進基本計画」（平成24年6月8日閣議決定）に基づき20歳から69歳までとし、その他のプロセス指標については厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」に基づき20歳から74歳までとしています。

### **《評価基準》**

評価基準は前述した厚生労働省報告書「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の許容値・目標値としました※。

※要精検率、がん発見率、陽性反応適中度は、人口構成による違いや継続受診者の比率などによっても影響を受けます。特に、がん発見率、陽性反応適中度は人口の少ない自治体では年度による変動が大きいとされています。一方、精検受診率に関しては、精度評価の最も重要な指標と位置付けられており、目標値は90%以上、許容値は70%以上とされています。

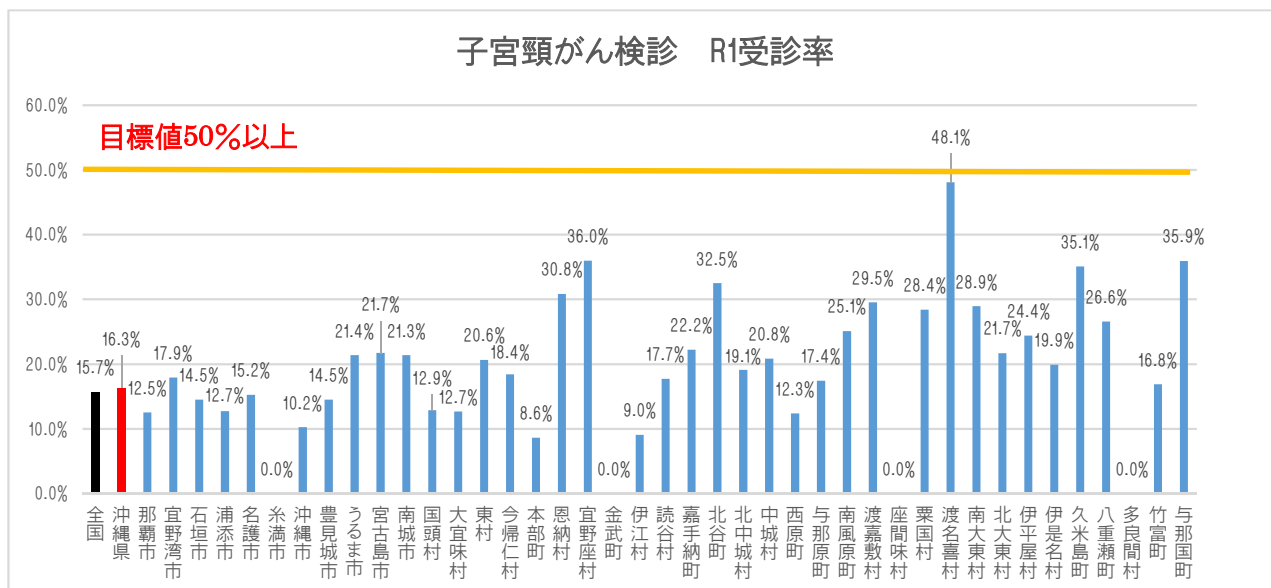
### **《結果：肺がん検診の精度管理指標数値（平成30年度検診実施分）》**

※受診率のみ令和元年度検診実施分を示します。

※棒グラフの値が「0.0」又は「0.00」の市町村は「検診の未実施により計数がない（ゼロ）」又は「検診を実施したが計数がない（ゼロ）」ことを示し、棒グラフの値が空欄の市町村は計数が算出できなかったことを示します。

① 受診率（令和元年度受診者 20～69 歳） 受診者数／対象者数×100

受診率は、子宮頸がん検診対象者のうち受診者の割合です。高いことが望ましく、目標値は50%以上となっています。

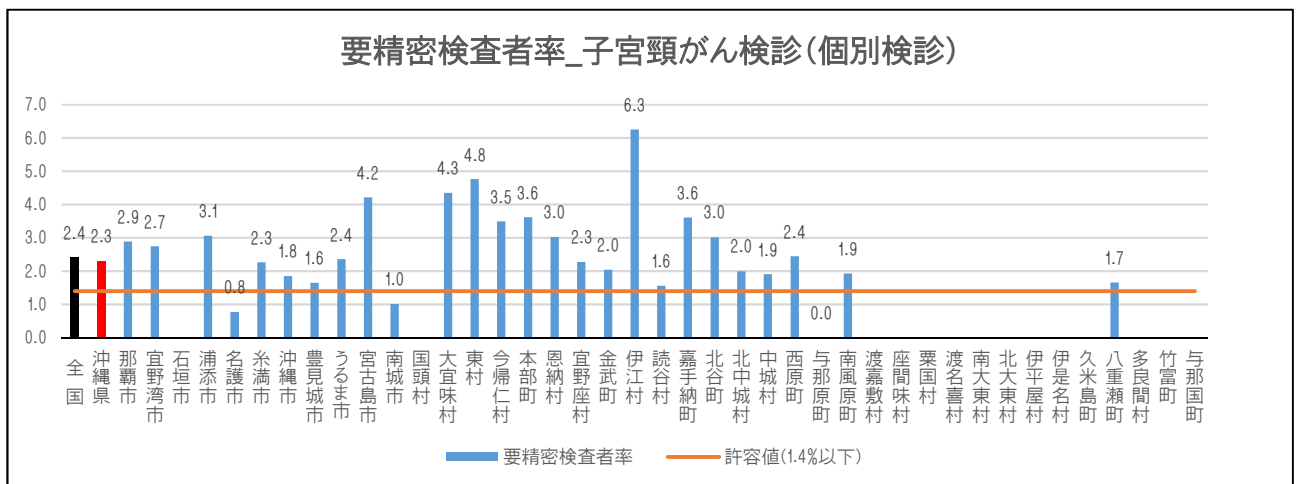
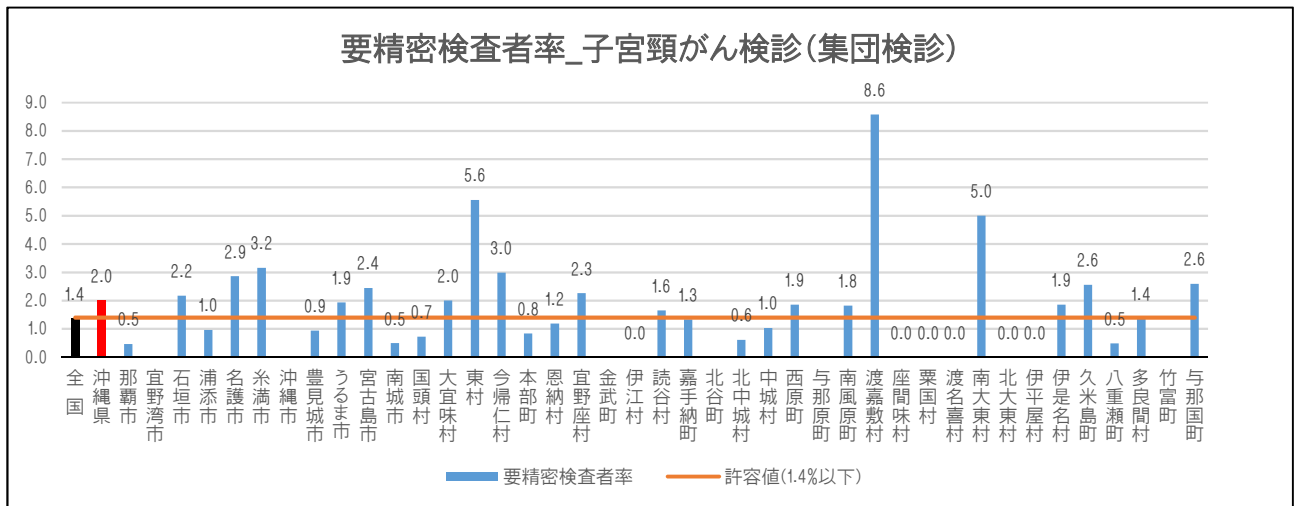
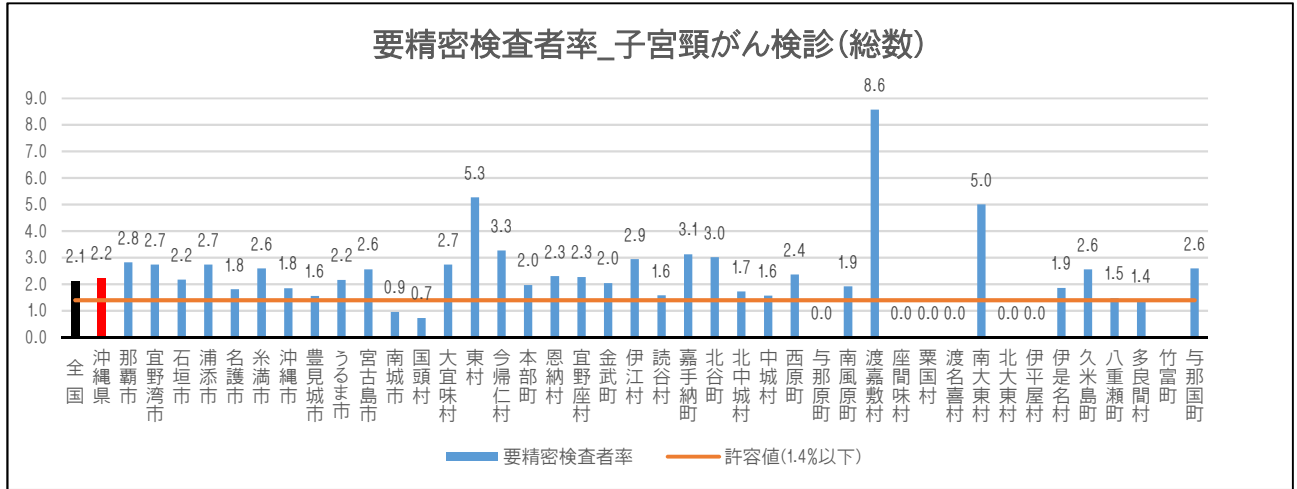


	対象者数 1)	当該年度受診者数 1)	前年度受診者数 1)	2年連続受診者数 1)	受診率 2)
<b>全国</b>	<b>39,024,588</b>	<b>3,548,256</b>	<b>3,625,872</b>	<b>962,691</b>	<b>15.7</b>
<b>沖縄県</b>	<b>455,943</b>	<b>40,709</b>	<b>42,498</b>	<b>7,790</b>	<b>16.3</b>
那覇市	102,311	6,075	6,746	26	12.5
宜野湾市	32,026	2,922	2,813	-	17.9
石垣市	15,794	1,504	1,481	696	14.5
浦添市	36,712	2,226	2,440	-	12.7
名護市	18,832	1,501	1,369	1	15.2
糸満市	18,630	1,820	1,694	...	...
沖縄市	45,288	2,304	2,334	3	10.2
豊見城市	20,213	1,535	1,445	48	14.5
うるま市	36,116	4,884	4,793	1,962	21.4
宮古島市	16,211	2,459	2,511	1,454	21.7
南城市	12,759	1,759	1,545	581	21.3
国頭村	1,228	112	106	60	12.9
大宜味村	758	75	55	34	12.7
東村	465	50	50	4	20.6
今帰仁村	2,477	181	291	16	18.4
本部町	3,657	134	182	1	8.6
恩納村	3,006	592	590	256	30.8
宜野座村	1,694	387	402	180	36.0
金武町	3,199	387	378	...	...
伊江村	1,229	79	32	-	9.0
読谷村	12,854	1,553	1,537	813	17.7
嘉手納町	4,035	296	647	47	22.2
北谷町	9,349	1,586	1,484	34	32.5
北中城村	5,489	437	778	167	19.1
中城村	6,642	463	930	9	20.8
西原町	10,850	468	1,086	215	12.3
与那原町	6,299	732	732	369	17.4
南風原町	12,451	1,841	1,920	636	25.1
渡嘉敷村	193	36	33	12	29.5
座間味村	255	73	79	...	...
粟国村	155	29	19	4	28.4
渡名喜村	77	22	26	11	48.1
南大東村	294	67	58	40	28.9
北大東村	143	18	22	9	21.7
伊平屋村	295	46	51	25	24.4
伊是名村	337	34	46	13	19.9
久米島町	2,065	362	362	-	35.1
八重瀬町	9,518	1,258	1,270	-	26.6
多良間村	282	65	55	...	...
竹富町	1,318	222	-	-	16.8
与那国町	437	115	106	64	35.9

②要精検率（平成30年度受診者 20～74歳） 要精検者数／受診者数×100

要精検率は、受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、0よりも大きく一定の範囲内にあることが望ましい指標です。許容値は1.4%以下とされていますが、子宮頸がんの病気が多い地区では高くなることもあります。

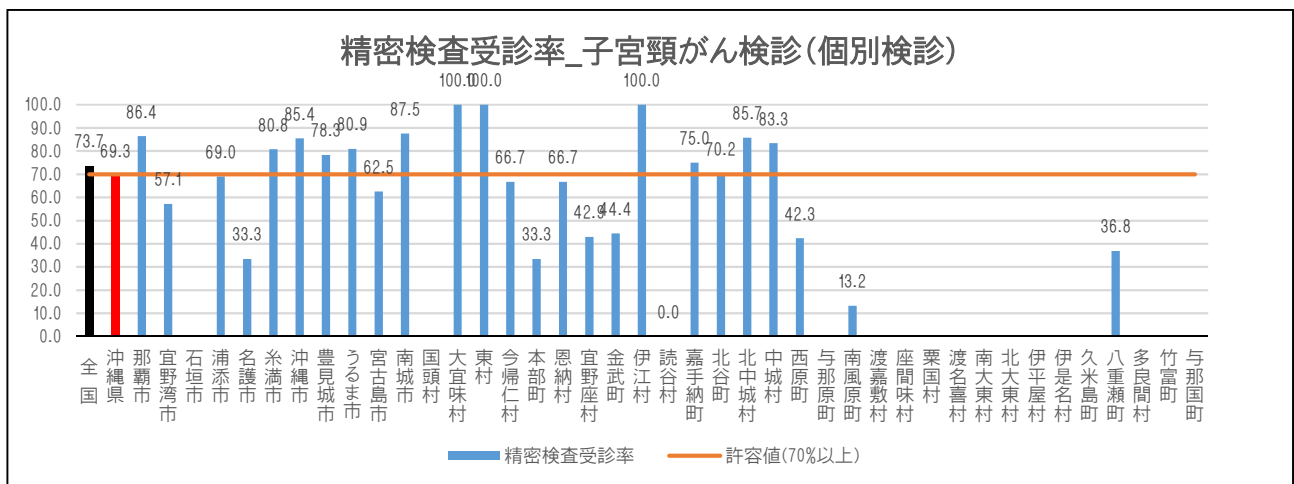
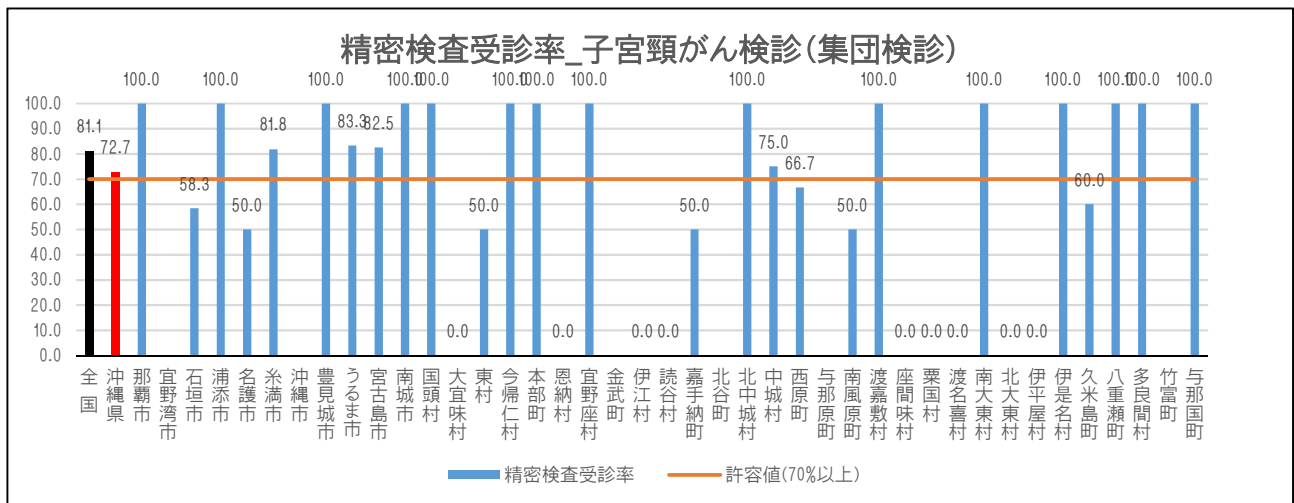
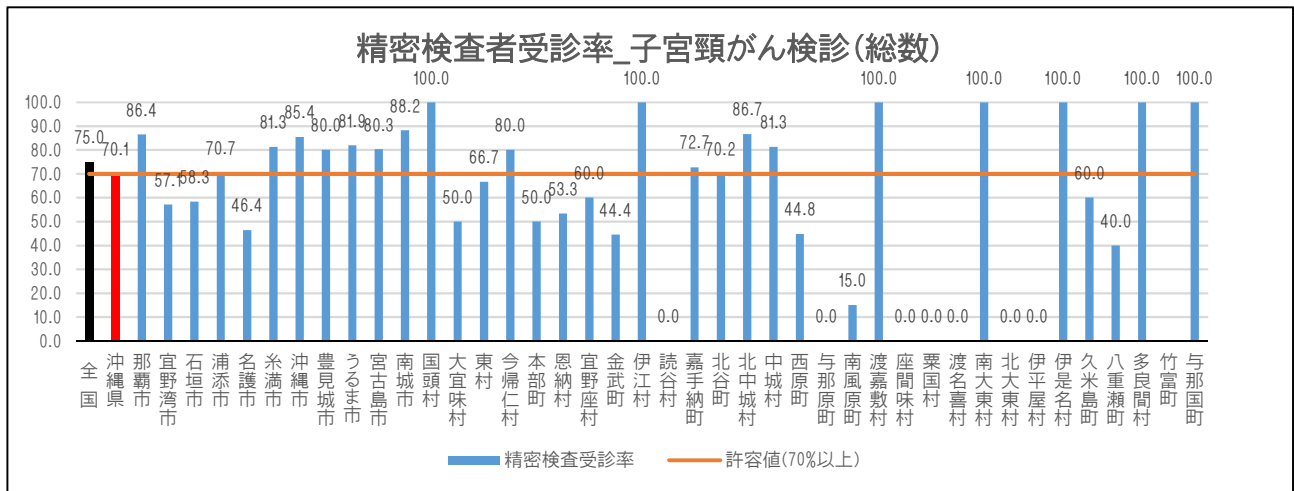
当県全体では2.2%と高くなっています。（許容値を超過しています）



③精検受診率（平成 30 年度受診者 20～74 歳） 精検受診者数／要精検者数×100

精検受診率は「要精密検査」とされた受診者のうち、実際に精密検査を受けた者の割合で、100%に近いことが望ましく、目標値は 90%以上、許容値は 70%以上です。

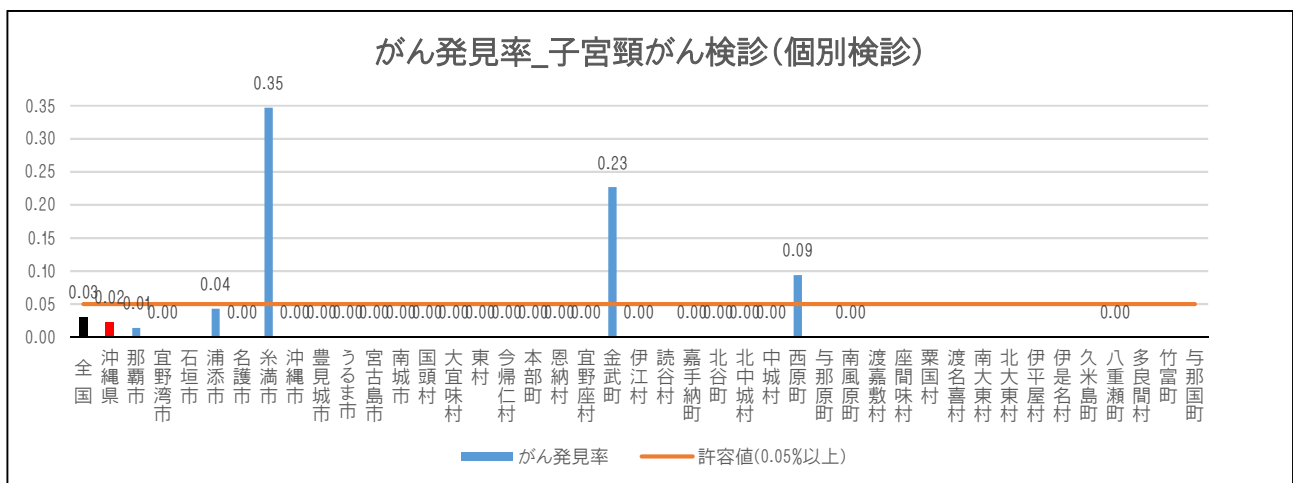
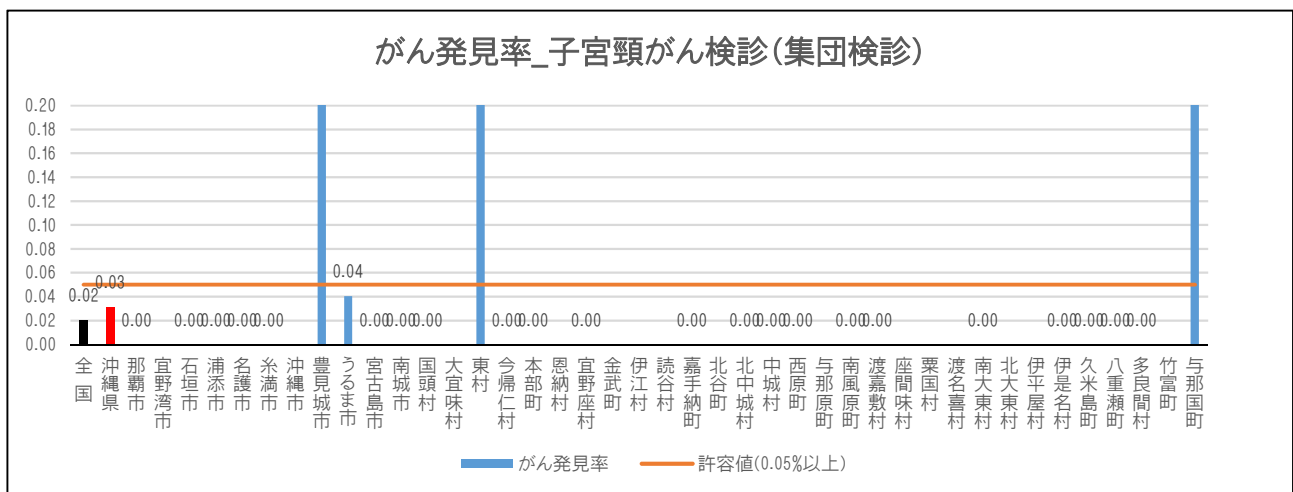
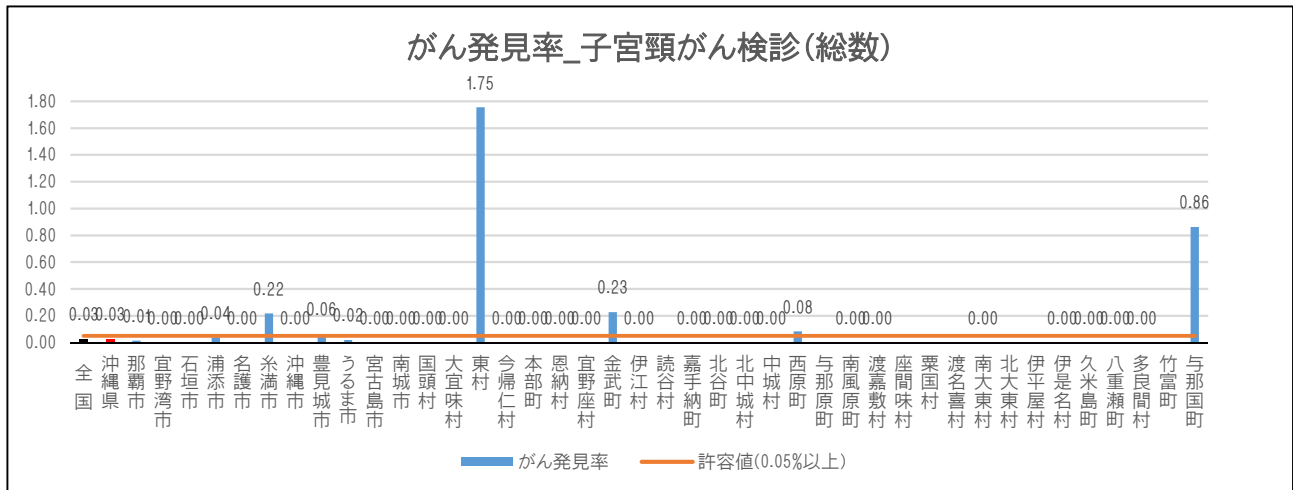
沖縄県全体では 70.1%となっています。



④子宮頸がん発見率（平成30年度受診者 20～74歳）  $\text{がんであった者} / \text{受診者数} \times 100$

子宮頸がん発見率は、受診された方のうち子宮頸がんが発見された方の割合で基本的に高いことが望ましい指標ですが、極端に高値あるいは低値の場合は更に検討が必要です。許容値は0.05%以上とされていますが、20歳代～30歳代前半の若年層の受診割合が高い地区や、受診者が固定してしまっている地区では低くなる場合があります。

当県全体では0.03%となっており、許容値を満たしていません。



⑤陽性反応適中度（平成30年度受診者 20～74歳） がんであった者／要精検者数×100

陽性反応適中度は、検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に子宮頸がんがあった方の割合で、ある一定の範囲内にあることが望ましいです。許容値 4.0%以上とされていますが、若年層は CIN の罹患は高いのですが、浸潤がんの罹患が少ないので、若年層の受診割合が多い地区では低くなることもあります。

当県全体では 1.14%となっており、許容値を満たしていません。

